

# 2023年度（4期生） 卒業時アンケート調査結果概要

実施日：2024/2/13

教育支援・教学IR室

# 1. 卒業生へのアンケート結果について

2024/2にWEBアンケート（Formsを使用）で実施し、回答率は89名/97名の92%であった（P.4）。

## A. 本学の教育・設備等に関するまとめ

### ① 本学で受けた教育や学生生活について

教育全体について「どちらかと言えば満足」/「満足」と答えた割合は98%で昨年度と大差なかったが、そのうちの「満足」の割合が、昨年度57%から46%とかなり低下していた。大学生生活に対しても、「どちらかと言えば満足」/「満足」と答えたのは昨年度の96%から88%と低下し、そのうちの「満足」の割合は昨年の59%から46%へ大幅に低下した。2023年度卒業生はCOVID-19の影響で入学式もなく、対面授業や病院実習の中止が相次いだことが影響したと考えられる。（P.6）。

### ② 勉学や学生生活にとって良かったと思うもの（複数回答可）について

「チューター制度」（昨年度は第3位）と「友人関係」（昨年度は第2位）が同率トップ48%で、大学生活で良い人間関係築いたことが伺える。第3位は「臨地実習」（昨年度は第1位）35%で、COVID-19の影響で臨地での学びに満足できた学生の割合が減少したと考えられた。続く4位以降は、グループ学習（33%）や就職・進学支援・キャリア教育(29%)が評価されていた。いずれの値も、昨年度に比較すると低めで、全般的に低い満足度となったことは、この結果からも伺えた（P.7）。

### ③ 本学で受けた教育によって身についたレベルについて

3つの汎用能力と7つのディプロマポリシーに関する能力の修得状況について、全く身につけてない（1）から十分身についた（10）の10段階尺度で回答する質問を実施した。（P.8-P.24）3つの17の質問すべてにおいて、入学時点と卒業時点とを比較してレベル平均値は統計的に有意に上昇した。

7つのディプロマ・ポリシーに関連するすべての項目において、レベル平均値は1.5~2.3倍と大きく上昇していた。今後卒業後アンケートで同じ質問項目の調査を予定しており、比較して行きたい。

### ④ 本学の施設・設備に関する質問について

概ね満足していたことを示す結果で、昨年度よりも更に満足度は上がっていた。売店や食堂に関する評価は昨年度よりも向上していた。（P.25）。

### ⑤ 本学の生活について

学生生活での経験が、自身の考え・行動に良い方向を与えたか、また仕事に役立つか、社会生活に役立つかという3つの問いに対して、肯定的に回答した学生の割合は、COVID-19の影響下ではあったが、いずれも96~100%と高い割合を示し、昨年度と同様に高い割合となった（P.26）。

## **B. 本学の学生支援に関するまとめ**

### ①本学のチューター制度について

チューター教員への相談しやすさや学修支援になっていたかについては、92%、95%と、昨年度と同様に、それぞれ肯定的な回答が得られた (P.28)。

また、チューター教員からの良い支援と感じたことについて (複数回答) は、第1位が就職・キャリア支援で72% (昨年度74%)、次いで国家試験対策を挙げた学生が48% (昨年度56%) となっていた。続いて、学期初めの定期面談27% (昨年度36%)、進級関係25% (昨年度30%) であった (P.29)。昨年と同様な結果ながら、若干ポイントが低下した。

### ②本学の就職・キャリア支援について

本学の就職・キャリア支援体制が就職や進学への支援になっていたかについては、昨年度同様、99%の学生が、「はい」、「どちらかと言えばはい」と回答していた (P.30)。

良い支援としてキャリア支援室を挙げた学生は80% (昨年度78%)、ついで教員からの支援と回答した学生が56% (昨年度55%) と、昨年度と同様であった。次いでキャリア支援ハンドブック39% (昨年度47%) はやや低下した (P.31)。

### ③本学の国家試験対策について (複数回答可)

本学の国家試験対策が支援になっていたかについては91% (昨年度は99%) の学生が、「はい」、「どちらかと言えばはい」と回答した (P.32)。

良い支援として第1位が模擬試験成績推移表52% (昨年度51%)、第2位が教員からの支援45% (昨年度40%)、第3位が大学主催の業者補講43% (昨年度64%) で、続いて教員補講27% (昨年度61%) であった。昨年に比して業者補講と教員補講 (一昨年度は共に48%) の評価が一転して低くなった (P.33)。

### ④学生自身の国家試験対策について (自己評価)

国家試験を意識して演習や実習に取り組んでいた学生は91%で、昨年度より若干低下した。4年次の夏に対策を開始した学生が多く、昨年度よりやや早めの対策であったが、自身の対策が遅かったと感じている学生の割合32% (昨年度24%) が増加した (P.34)。

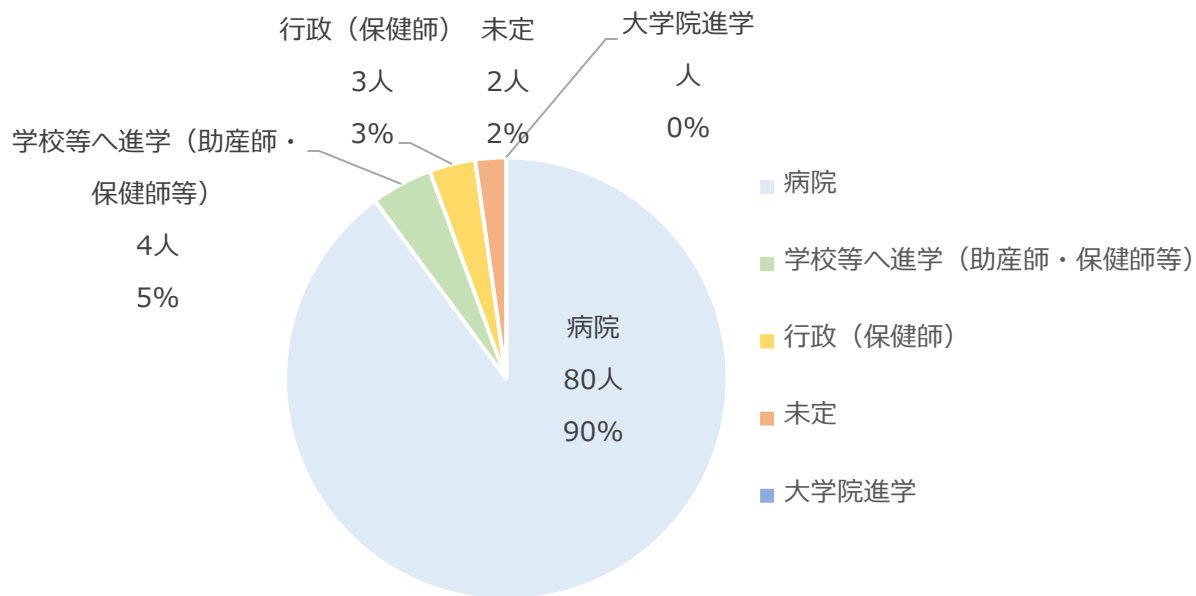
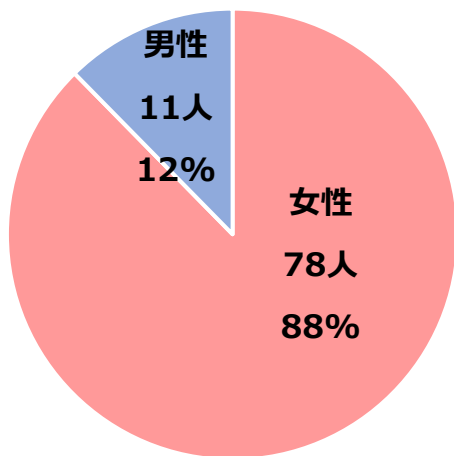
早い時期に始めた学生ほど、その時期を適切もしくはどちらかと言えば適切と認識し、開始時期が遅くなるにつれて遅かったと認識している学生が増加していた。開始時期が最も多い4年次の夏では、1/3の学生が遅いとの認識だった (P.35)。

以上の結果より、教育の成果としてディプロマ・ポリシーの達成ができていることが示され、本学での教育、学生生活や設備に対する肯定的な回答割合がかなり高いことが示された。学生支援に関しても、キャリア支援および国家試験対策についての高い評価が得られている。当該卒業生は、COVID-19パンデミックの大きな影響を受けた学年であったこともあり、昨年度に比して満足した学生割合が低下した項目が多かった。

また、総合評価として、本学を高校の後輩に進めたい割合についてもスコア6以上の肯定的回答が77% (昨年度83%) で、若干低下した (P.37)。

## 2.回答者の概要

回答者 89人/97人  
(回答率 : 92%)



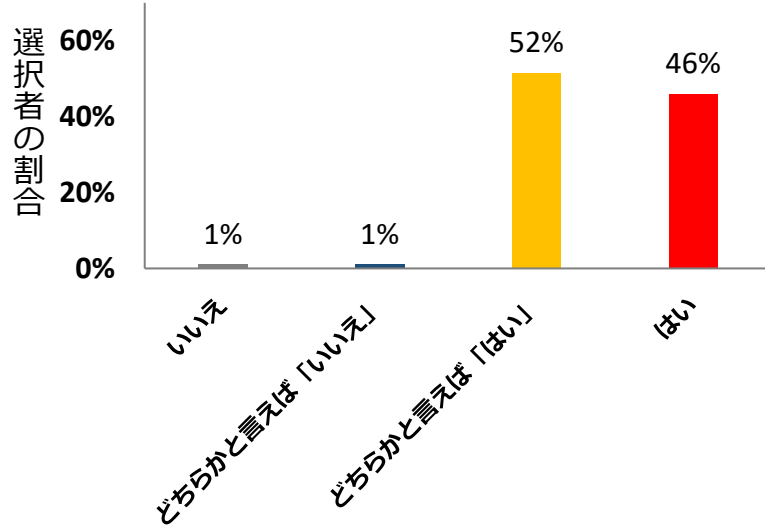
アンケート回答内容と異なるが、  
実際の未定者（家庭の事情による）は1名となっている。

## **A.本学の教育、学生生活や設備について**

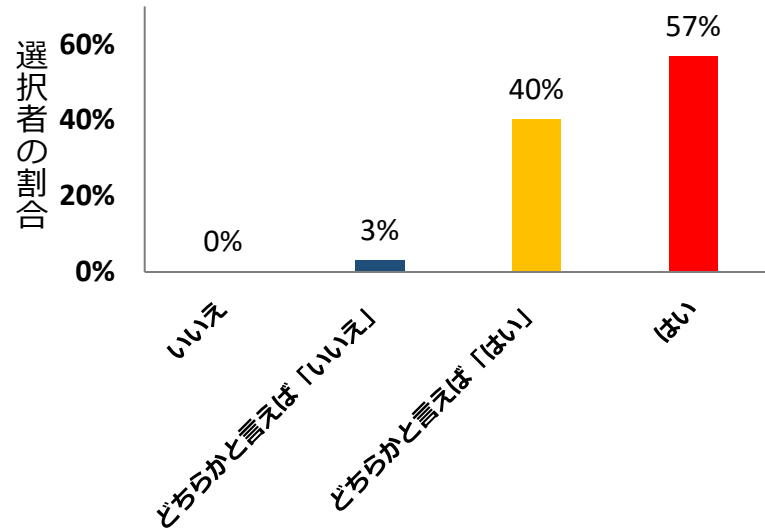
# 3.アンケート結果

問3. 福岡看護大学で受けた教育全体に対して満足していますか。

今年度

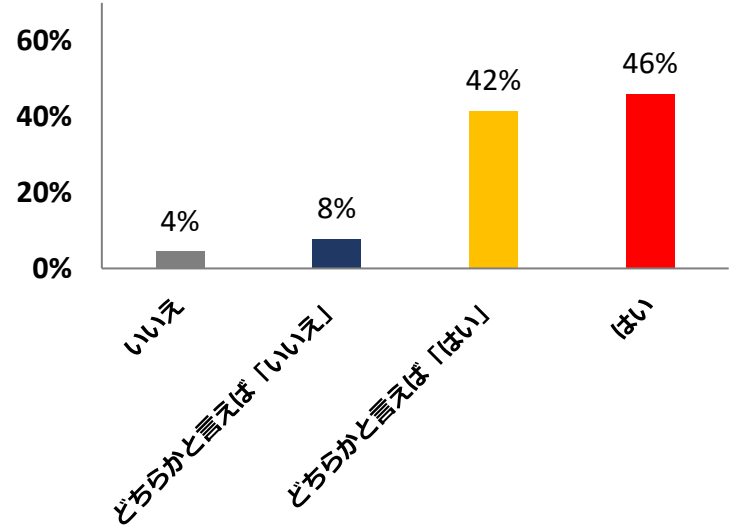


昨年度

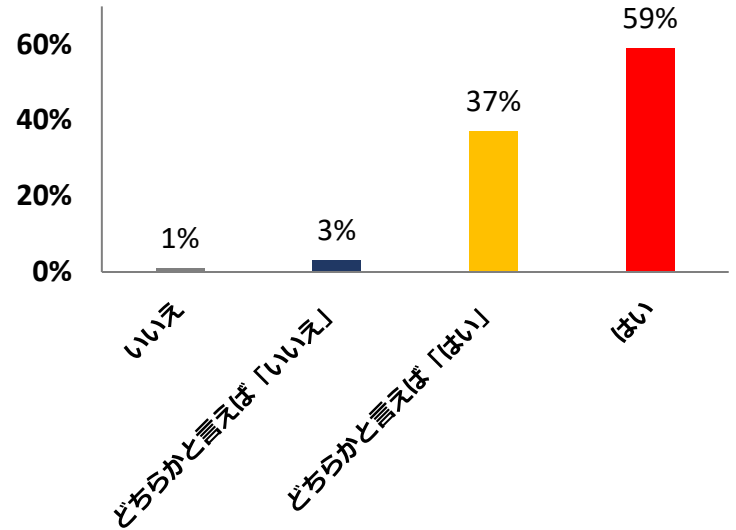


問4. 福岡看護大学での大学生生活に対して満足していますか。

選択者の割合

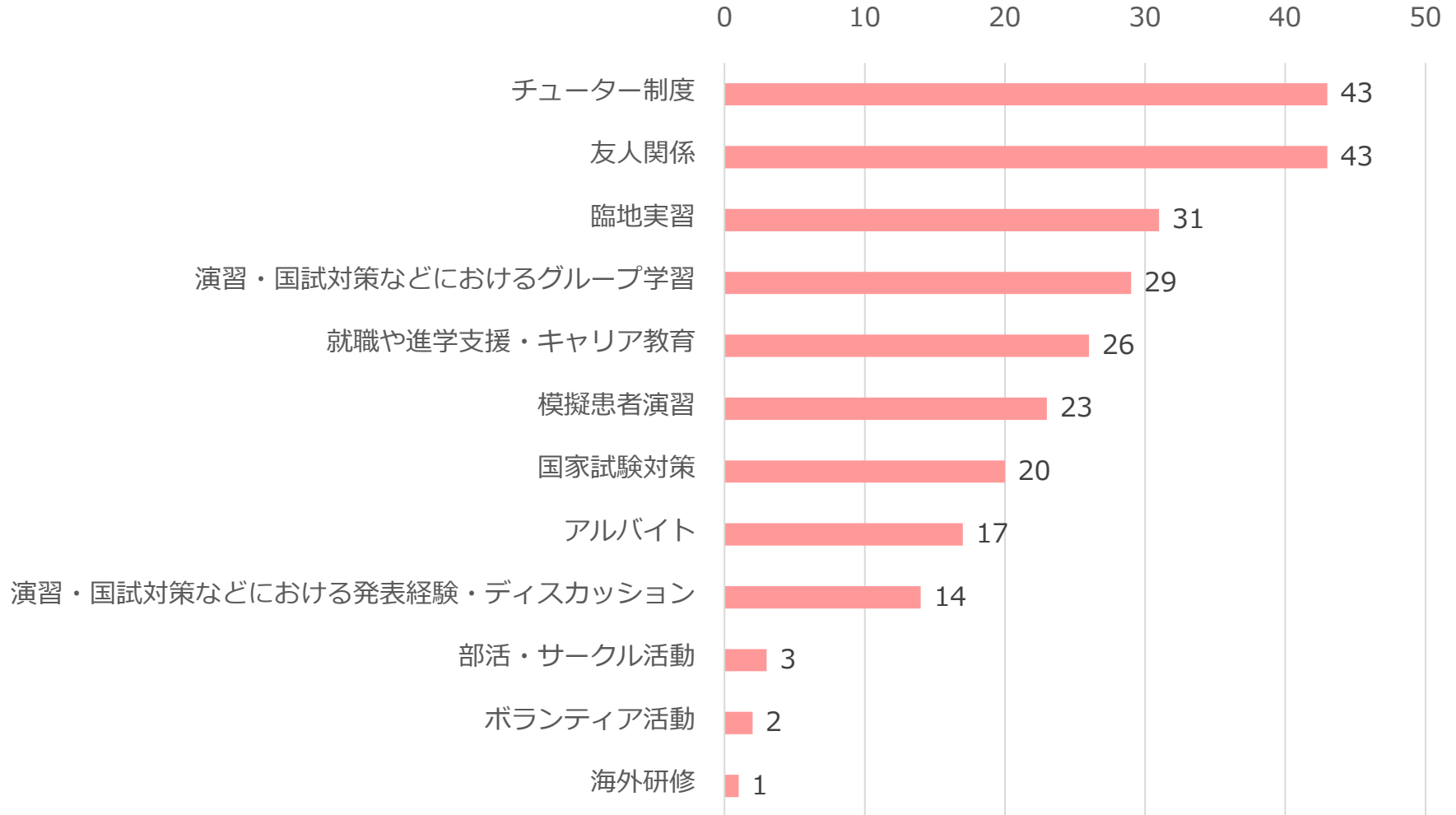


選択者の割合



# 3.アンケート結果

問5. あなたの勉学や学生生活にとって、良かったと思うものは何ですか。  
(複数回答 5 つまで)



# 3.アンケート結果

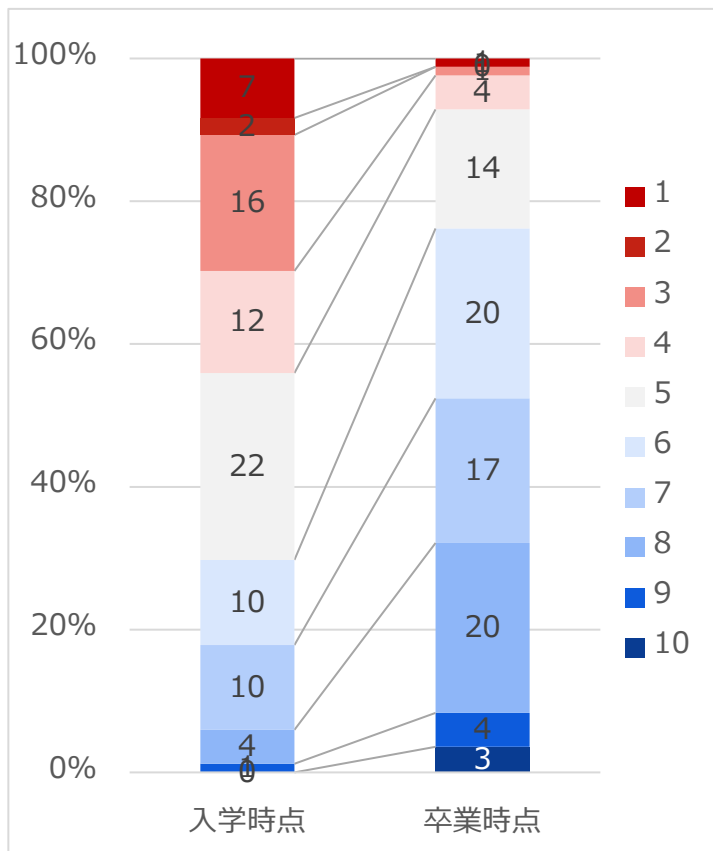
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの（5名）については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

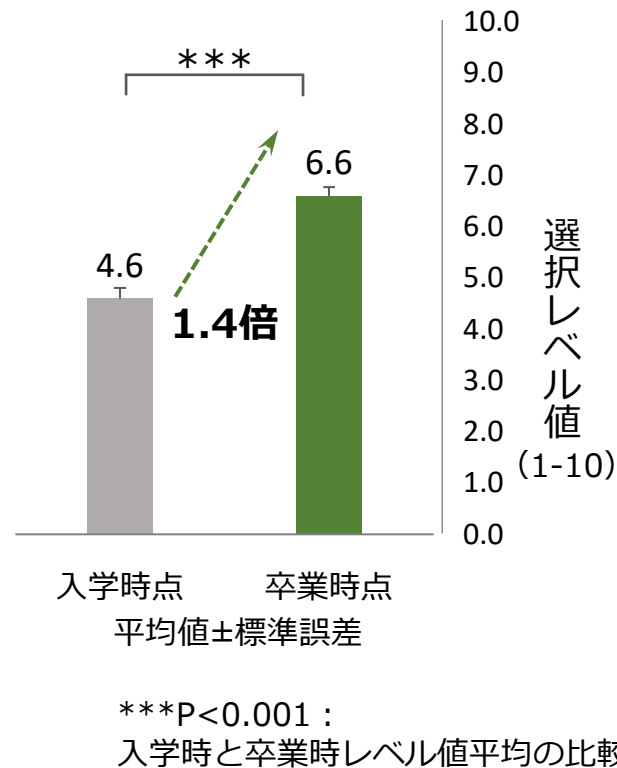
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (1) リーダーシップ能力

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化





# 3.アンケート結果

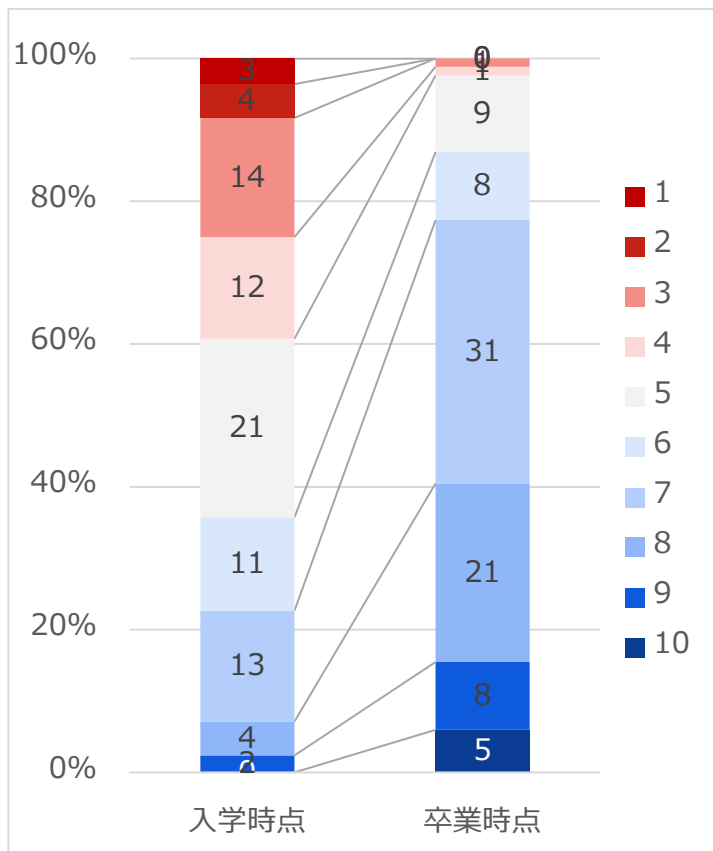
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの（5名）については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

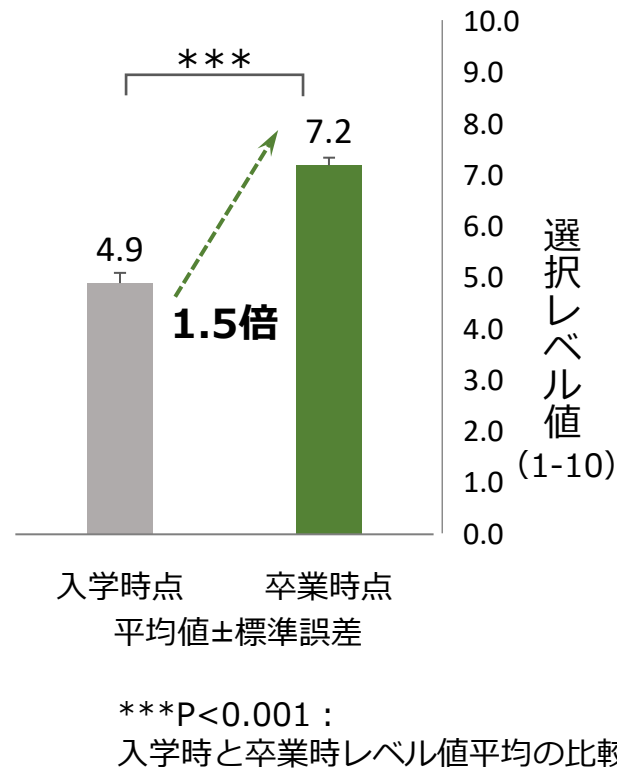
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (2) 説明する力やコミュニケーション能力

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

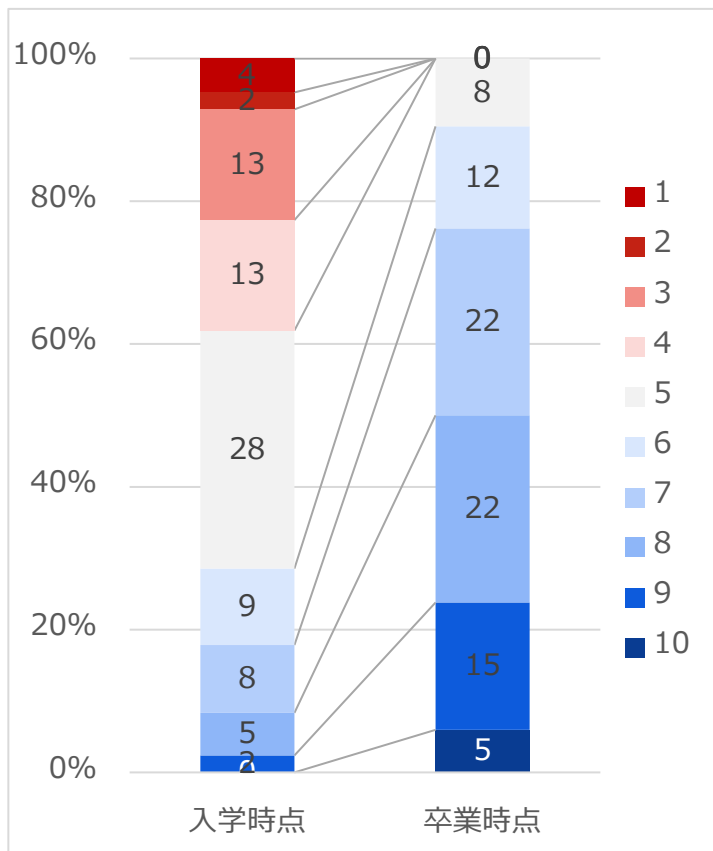
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

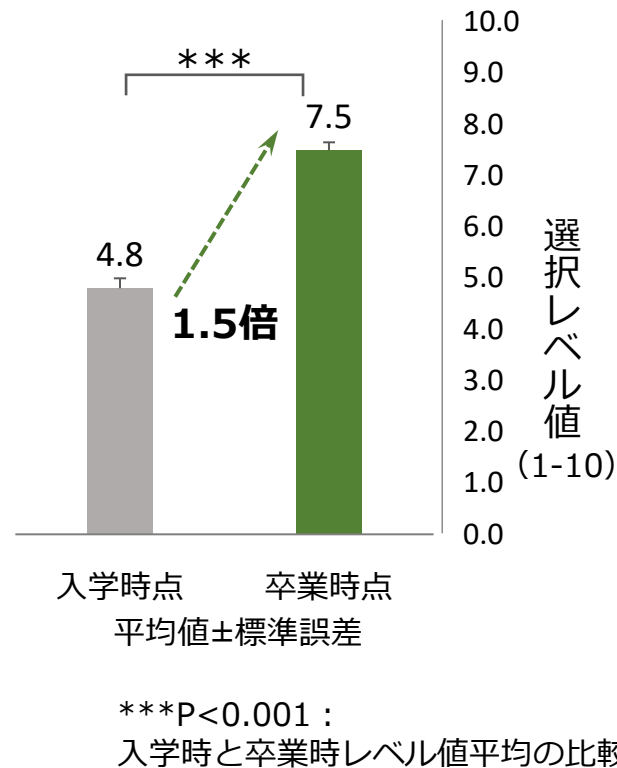
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (3) 課題解決力 (思考力)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

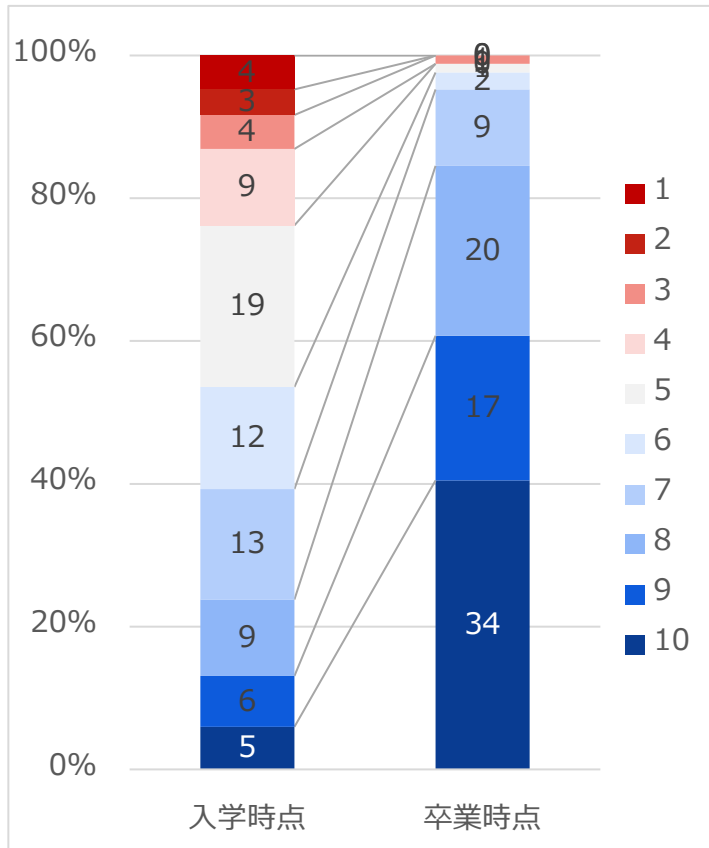
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

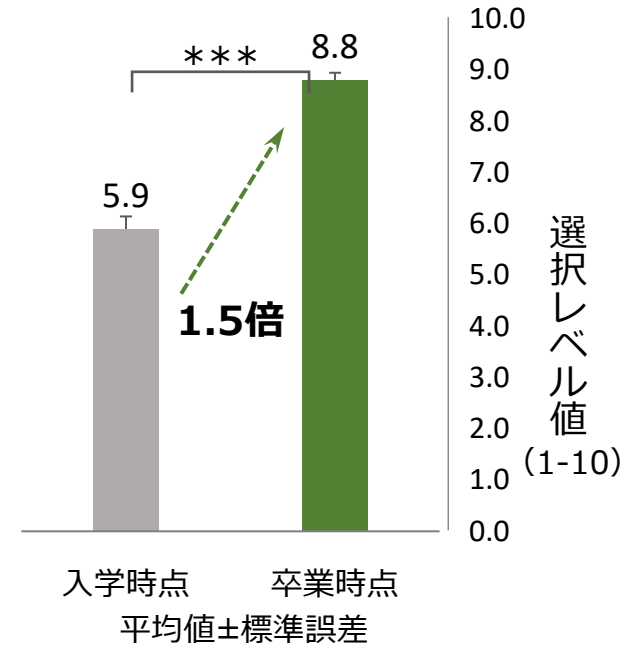
1 : 全く身につけていないレベル 10 : 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (4) 患者様／対象者様を人として理解し、尊重する態度がある。(DP1)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

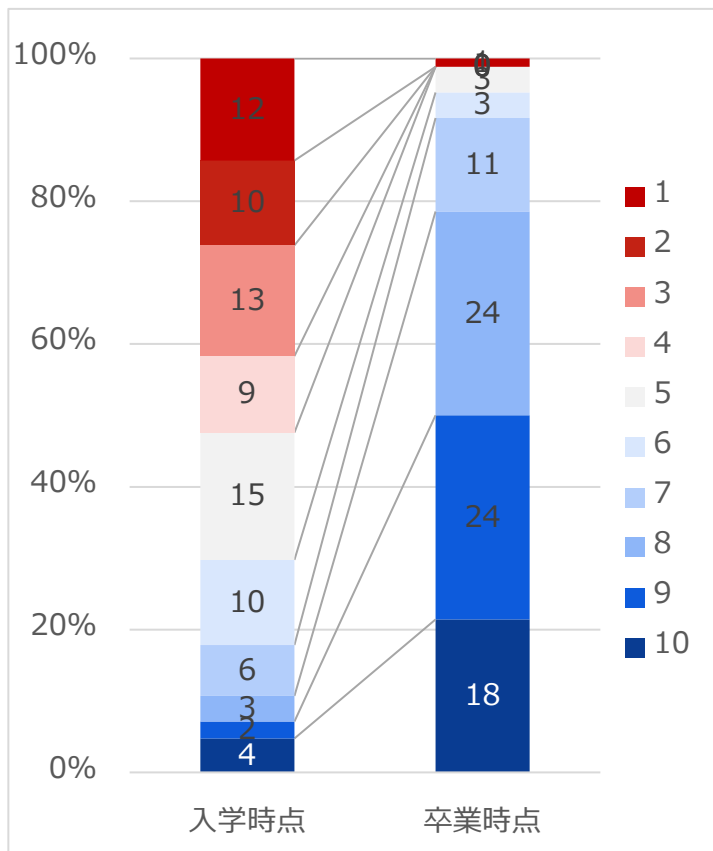
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

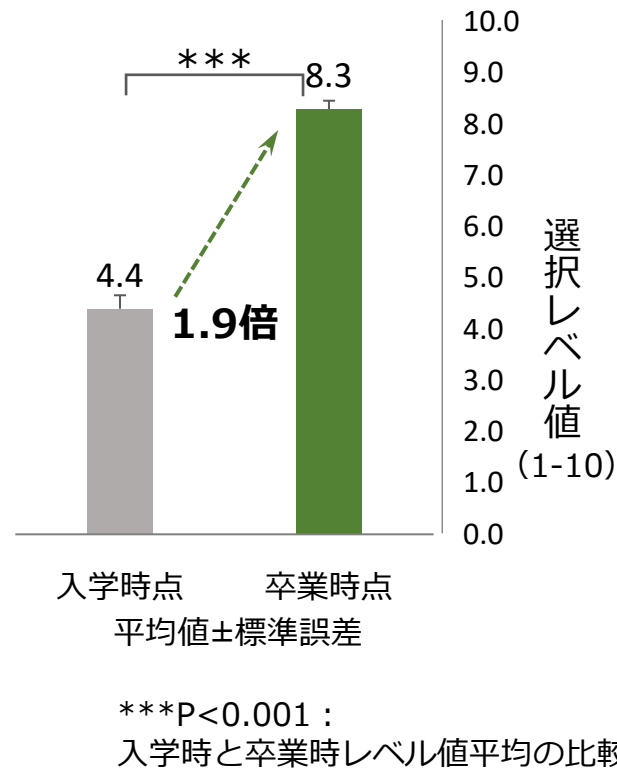
1 : 全く身につけていないレベル 10 : 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (5) 患者様／対象者様との人間関係を築くことができる。(DP1)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

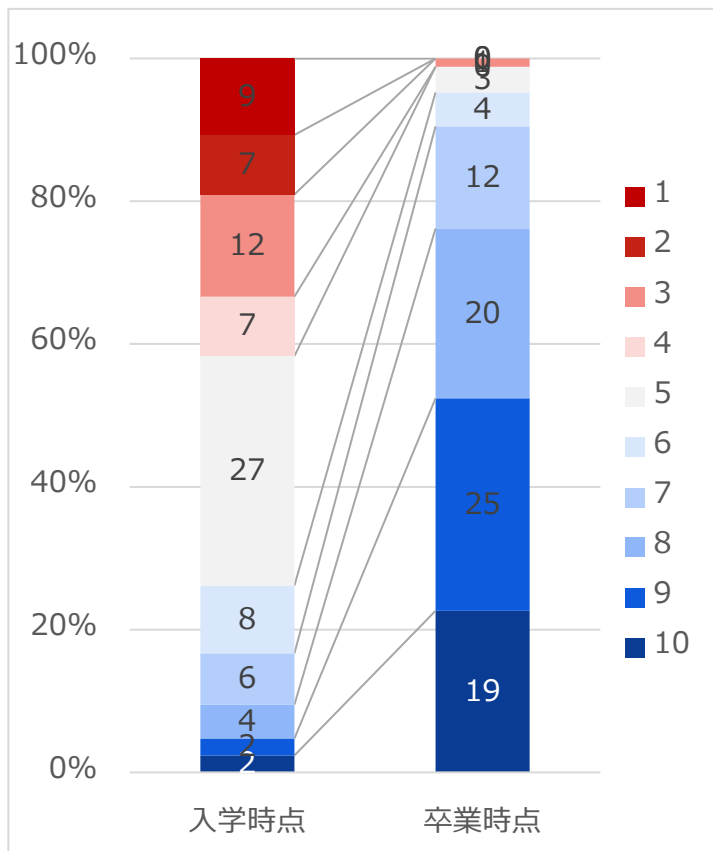
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

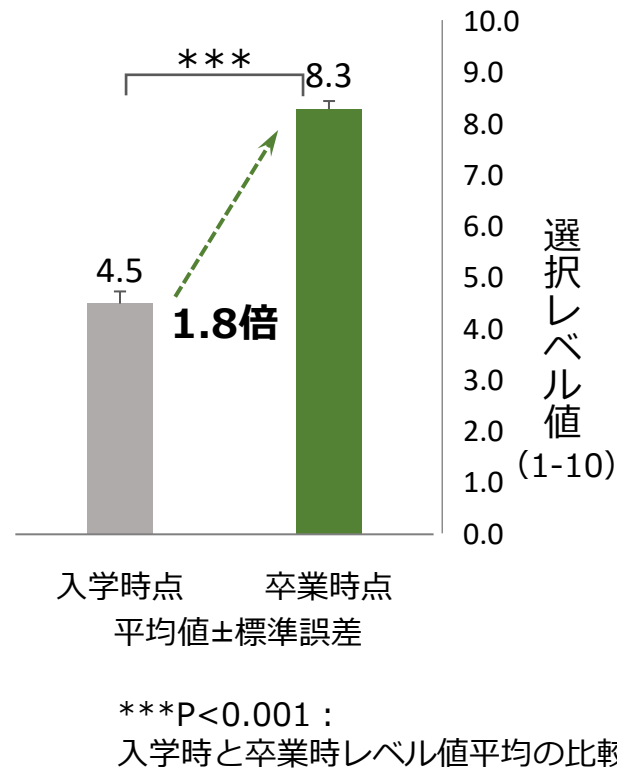
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(6) 多様な背景や価値観を持つ患者様/対象者様に対しての健康問題を考えることができる。(DP2)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

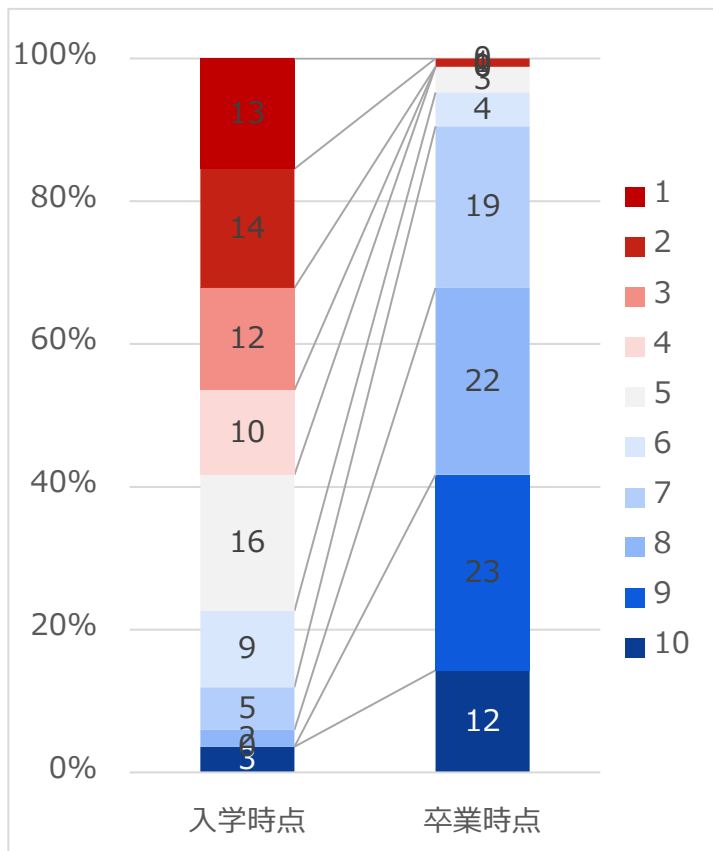
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの（5名）については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

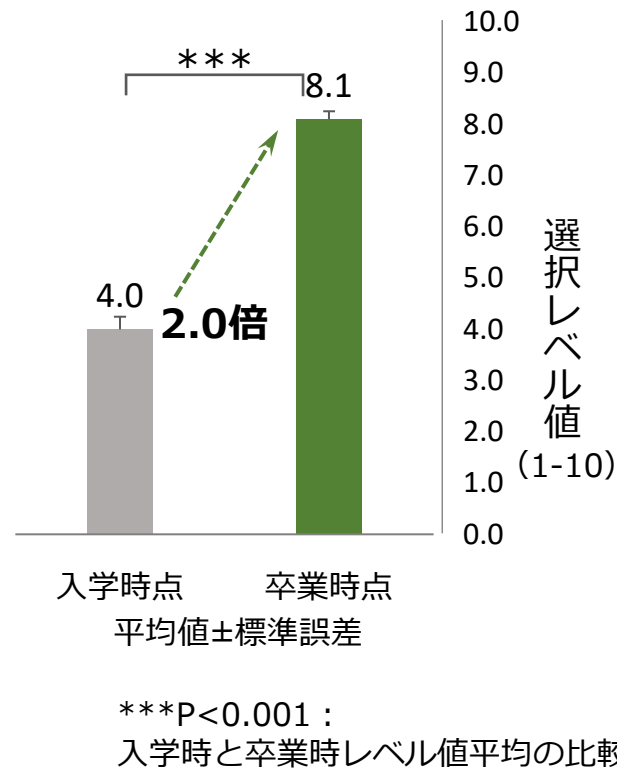
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (7) 多様な背景や価値観を持つ患者様／対象者様に対して柔軟に対応できる。（DP2）

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

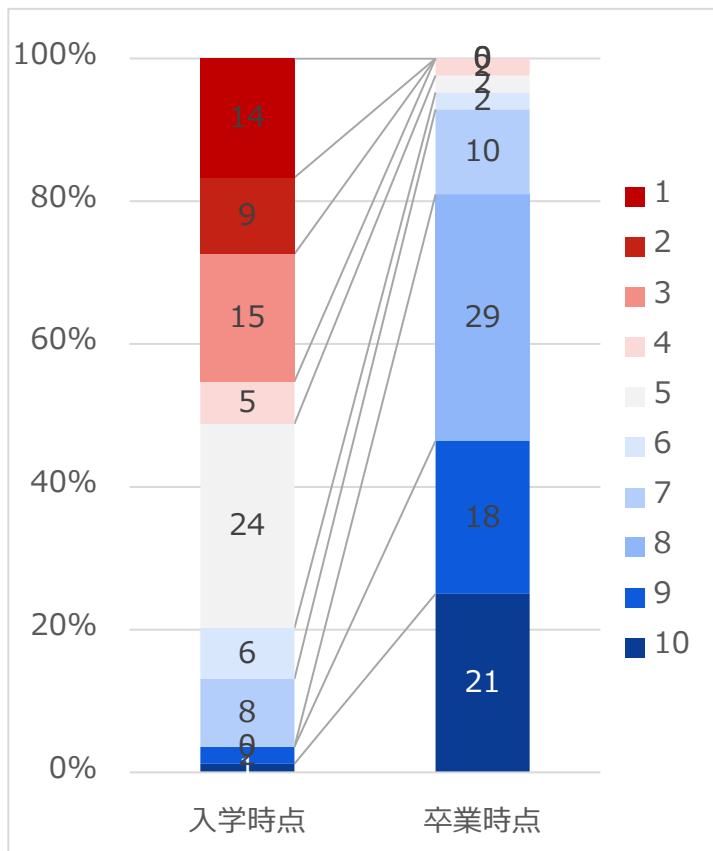
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

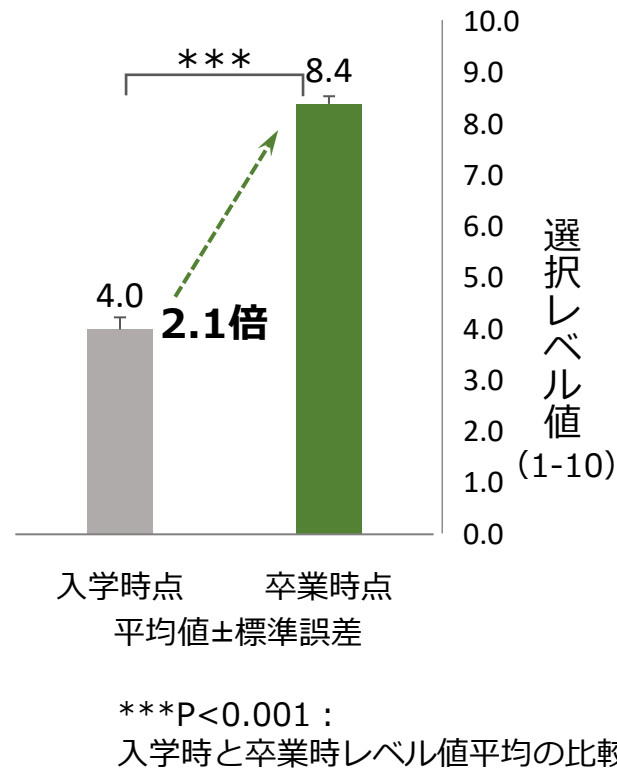
1 : 全く身につけていないレベル 10 : 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(8) 個別性を配慮して、患者様/対象者様の最適な生活 (well-being) を考えることができる。(DP3)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

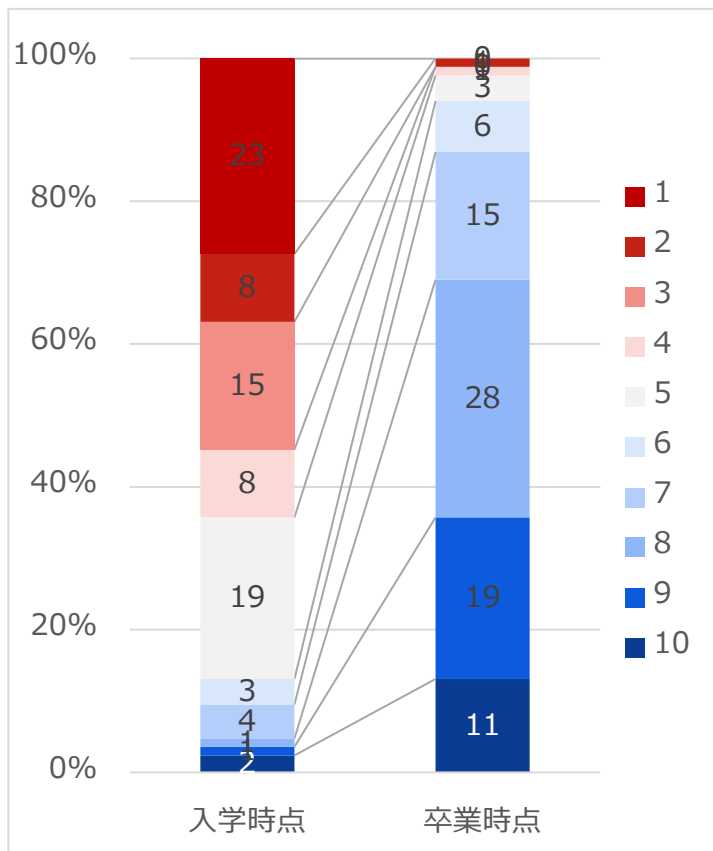
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

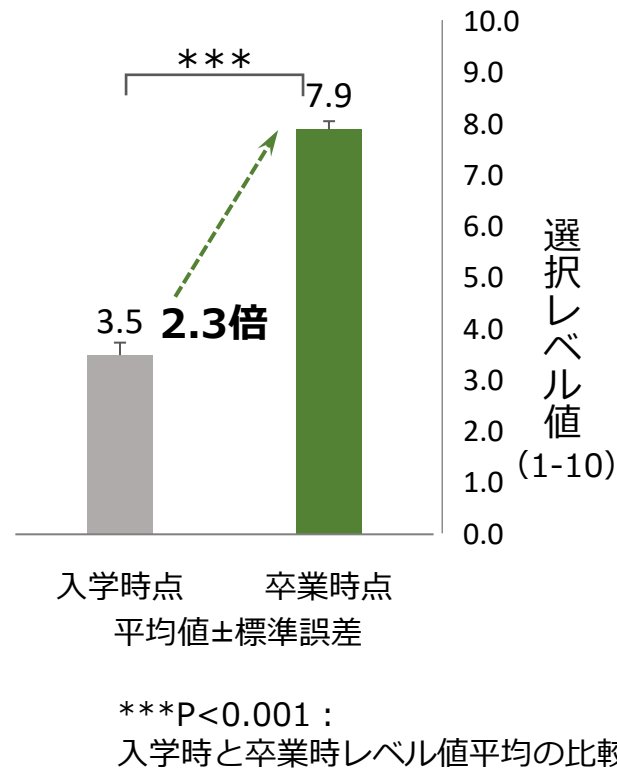
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (9) 科学的根拠に基づいて看護計画を立案し、患者様/対象者様に提案できる。(DP3)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化





# 3.アンケート結果

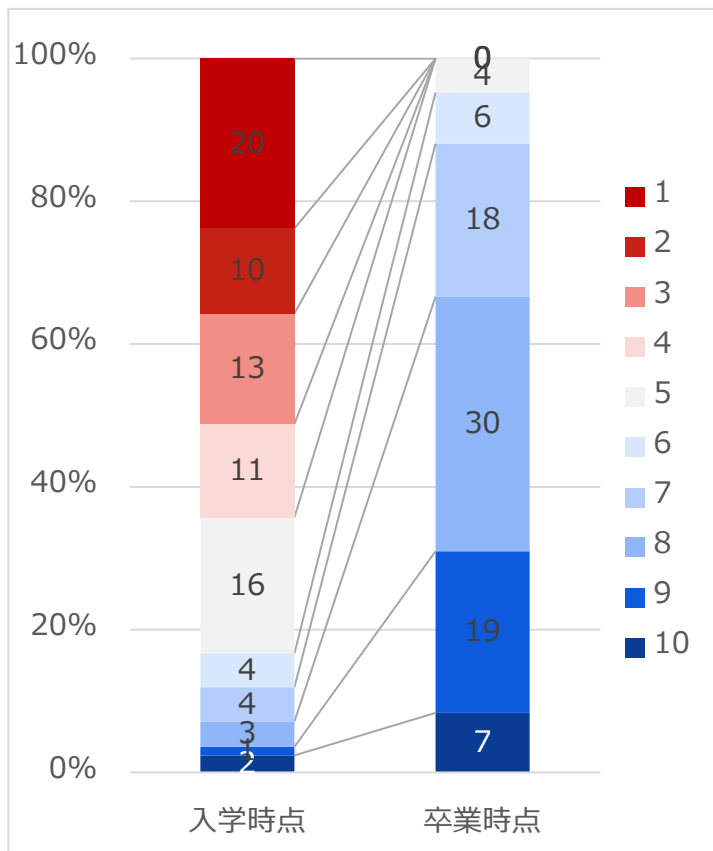
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

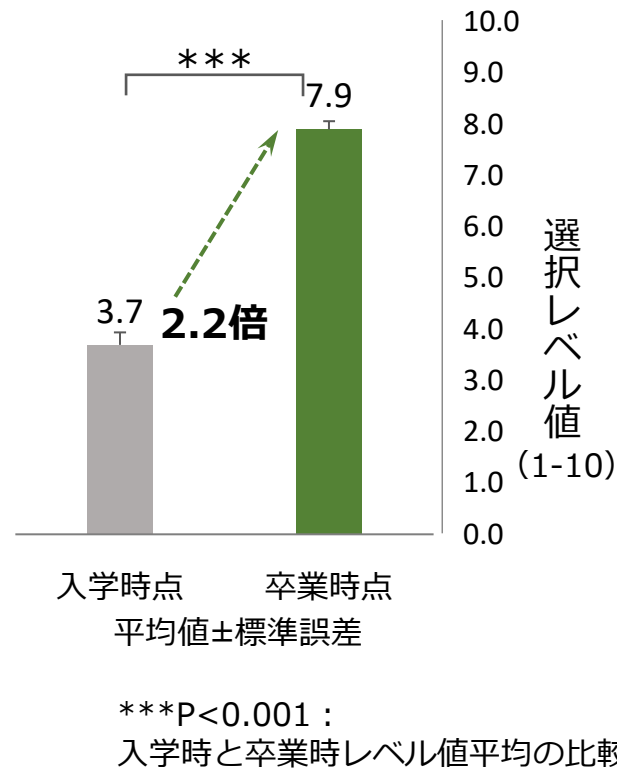
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (10) 患者様／対象者様に対し、根拠に基づいた看護実践ができる。(DP3)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

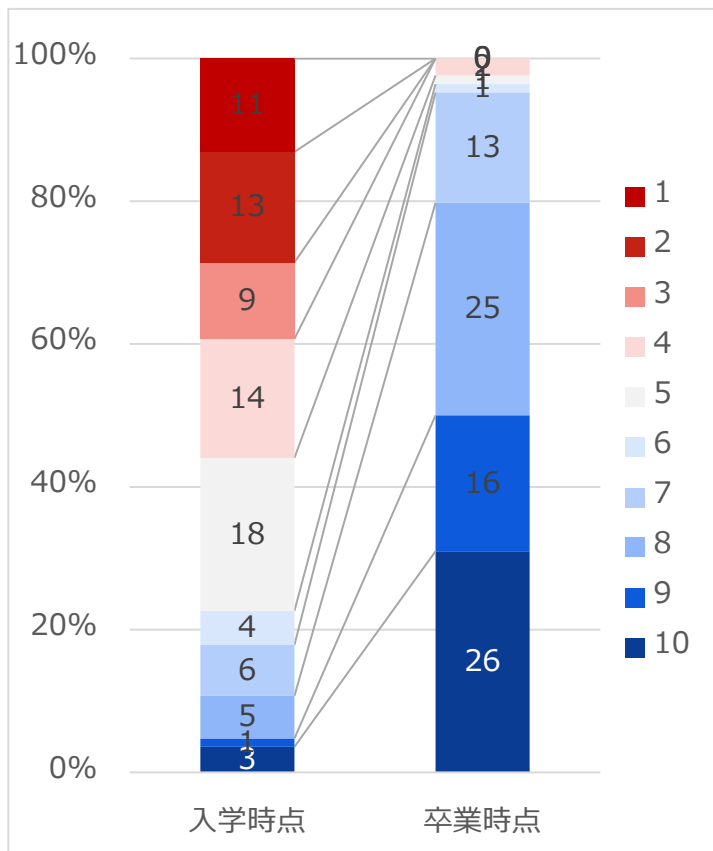
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

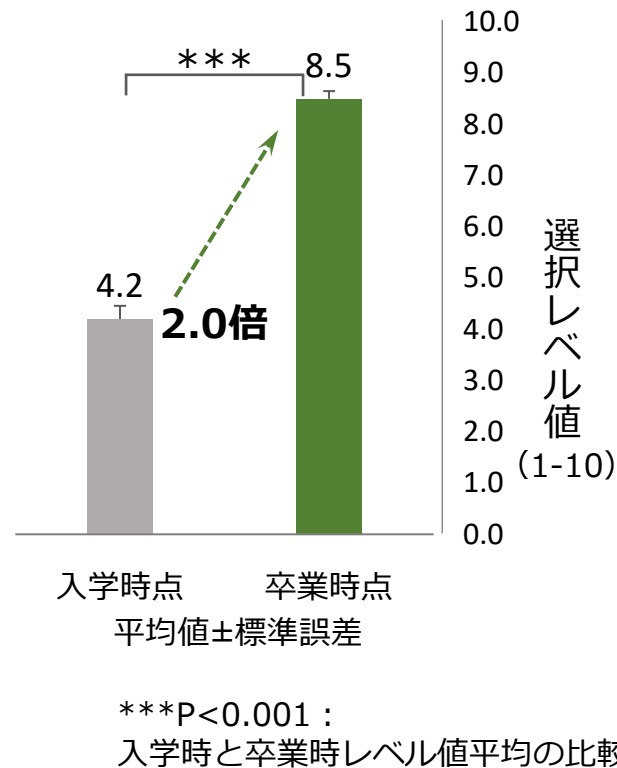
1 : 全く身につけていないレベル 10 : 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (11) チーム医療の一員としての働きの重要性を理解している。(DP4)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

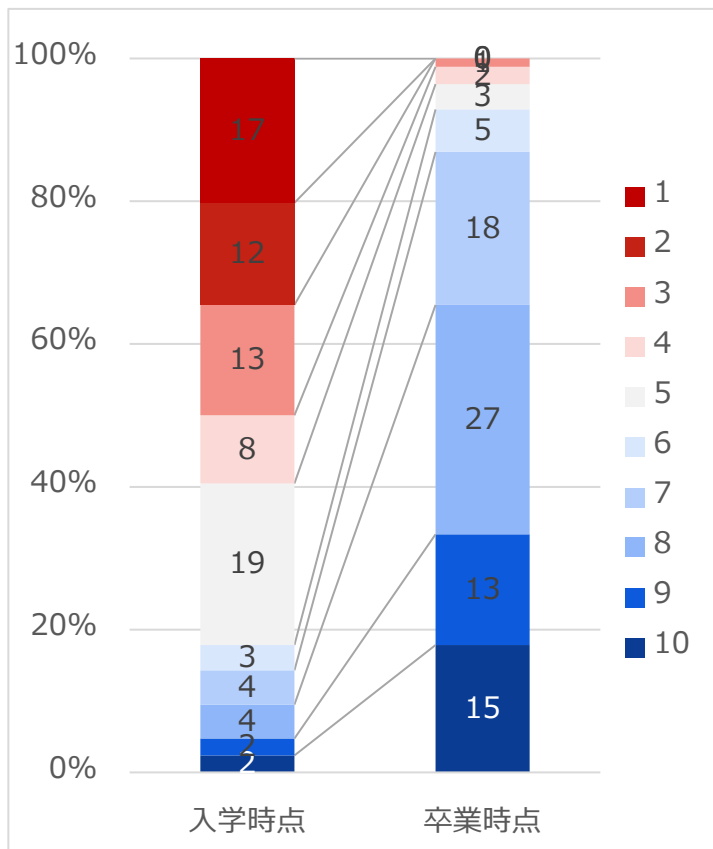
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

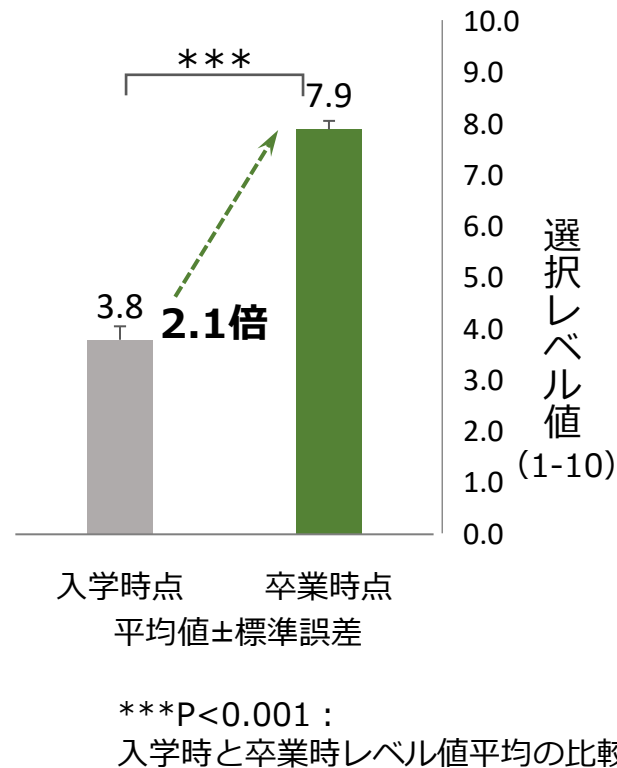
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (12) チーム医療の一員として、他の医療職者と積極的に連携できる。(DP4)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

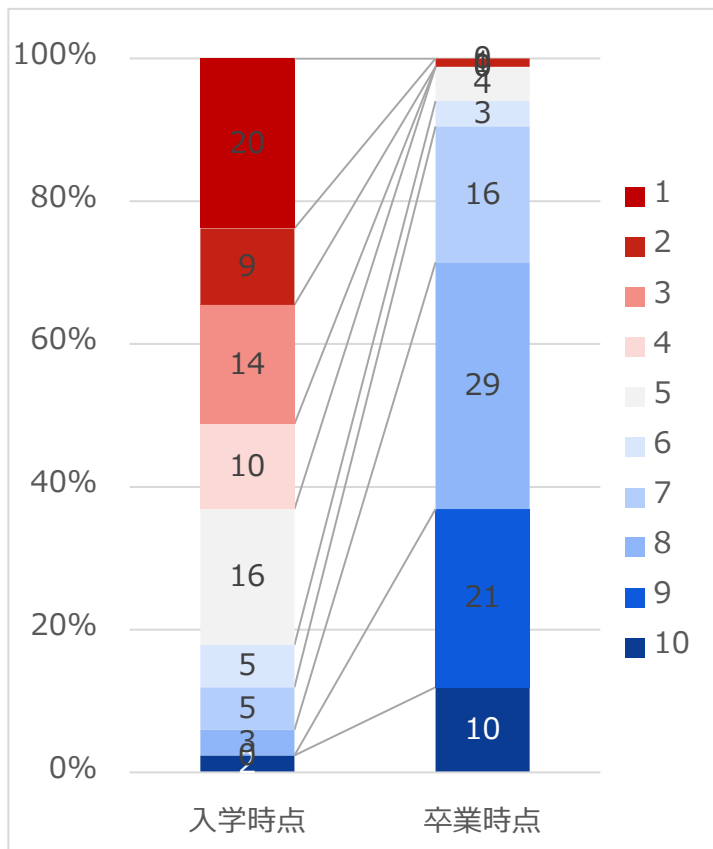
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

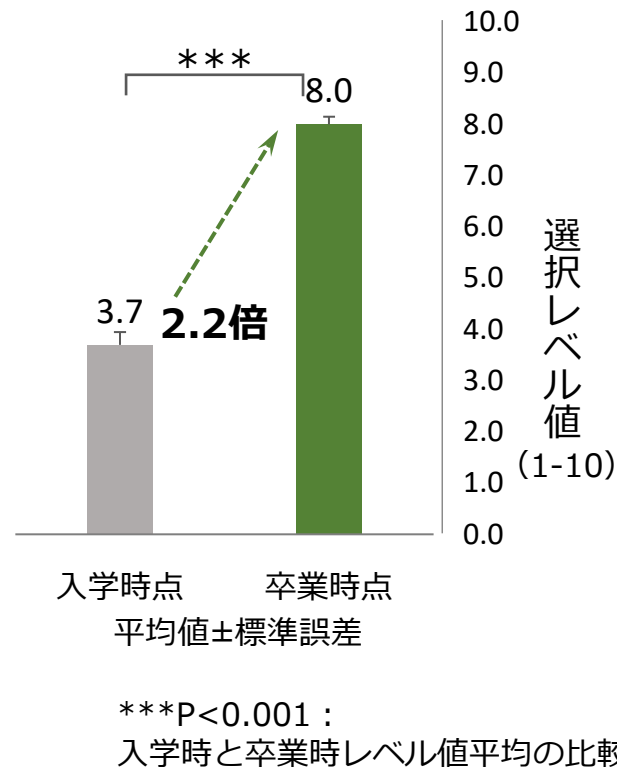
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (13) 患者様／対象者様の在宅での生活を意識した看護を実践できる。(DP5)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

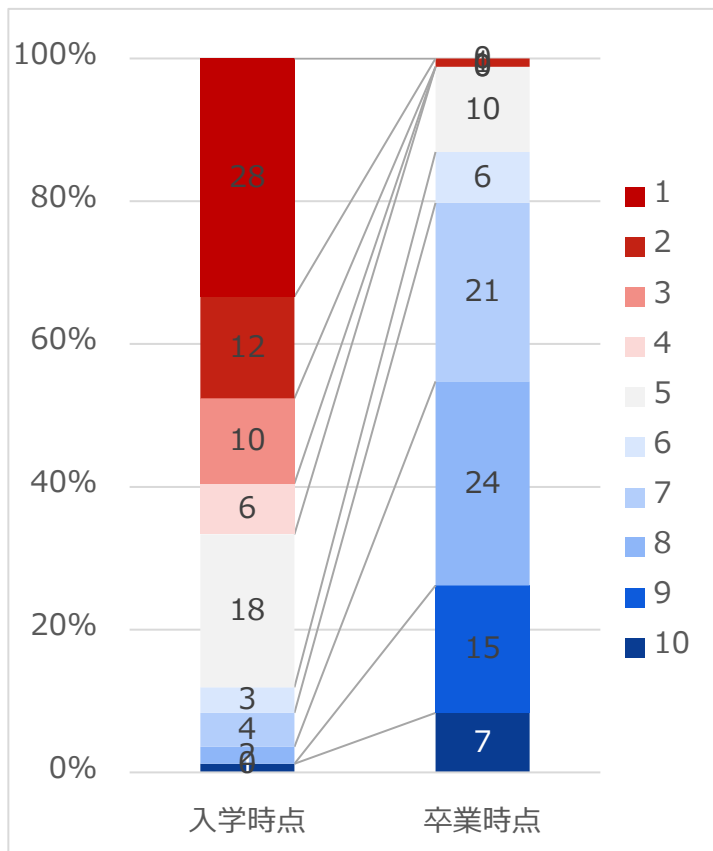
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

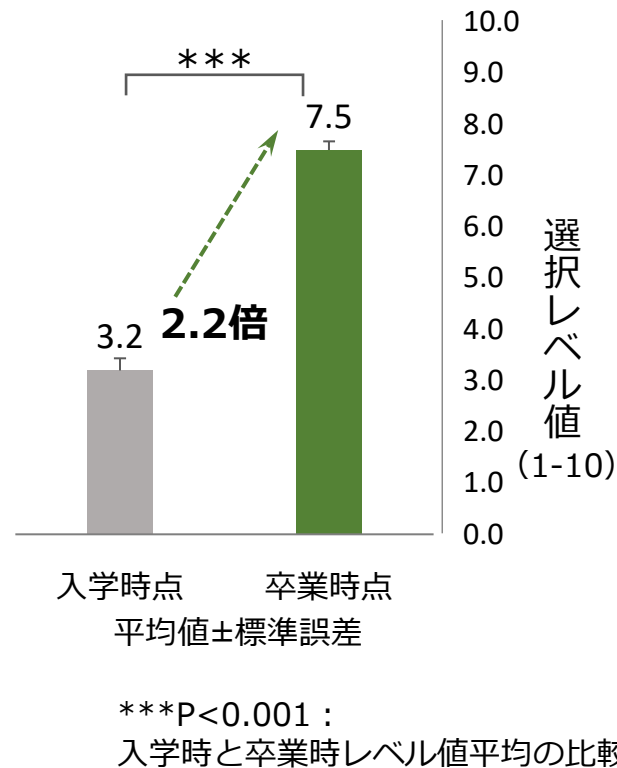
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (14) 患者様/対象者様の口腔ケアを積極的に実践している。(DP6)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

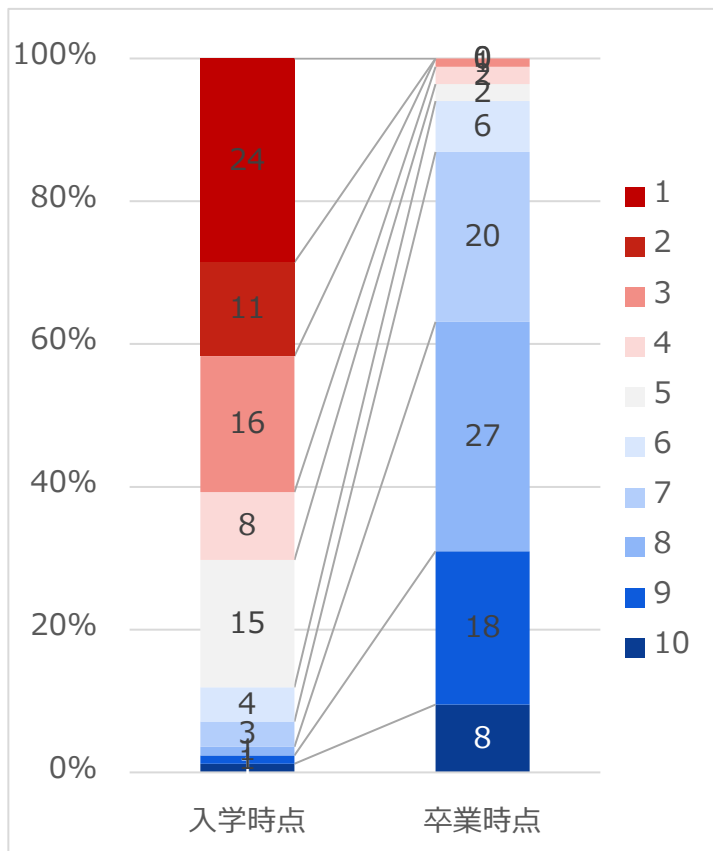
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの（5名）については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

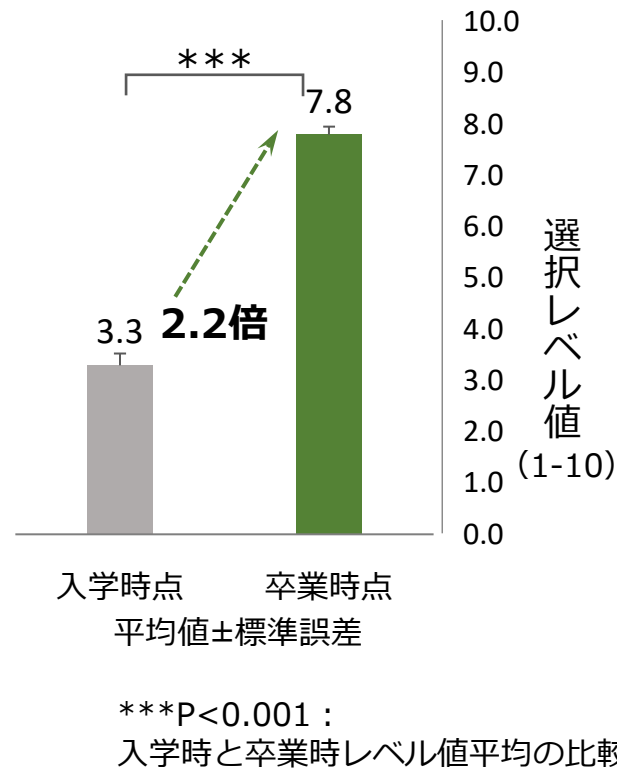
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(15) 患者様／対象者様の看護計画立案の際に、口腔と全身の健康の連関の視点を持っている。(DP6)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

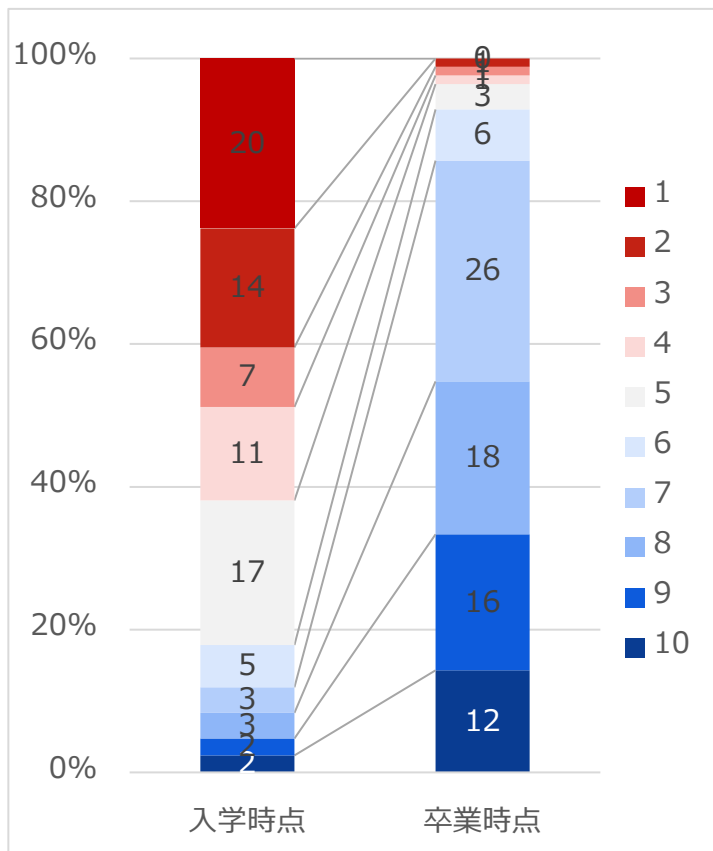
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

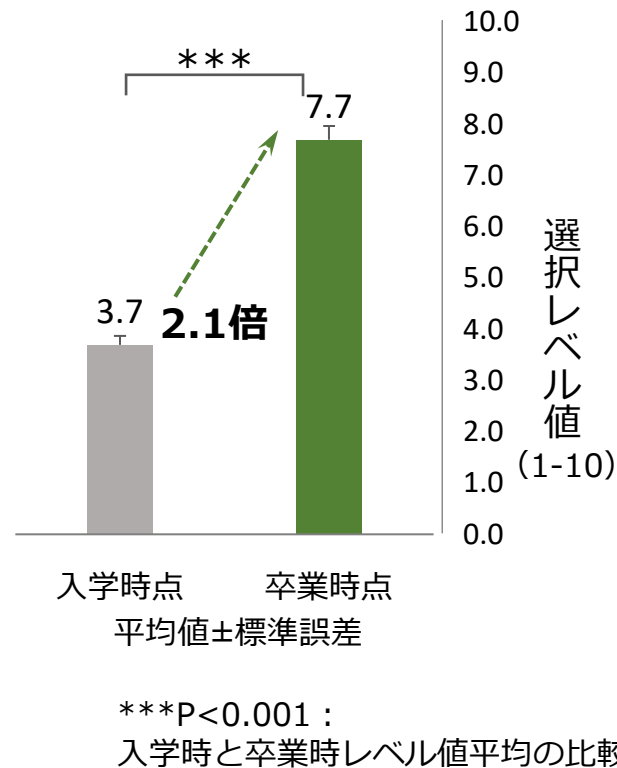
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (16) 看護専門職としての研鑽を続けている。(DP7)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



# 3.アンケート結果

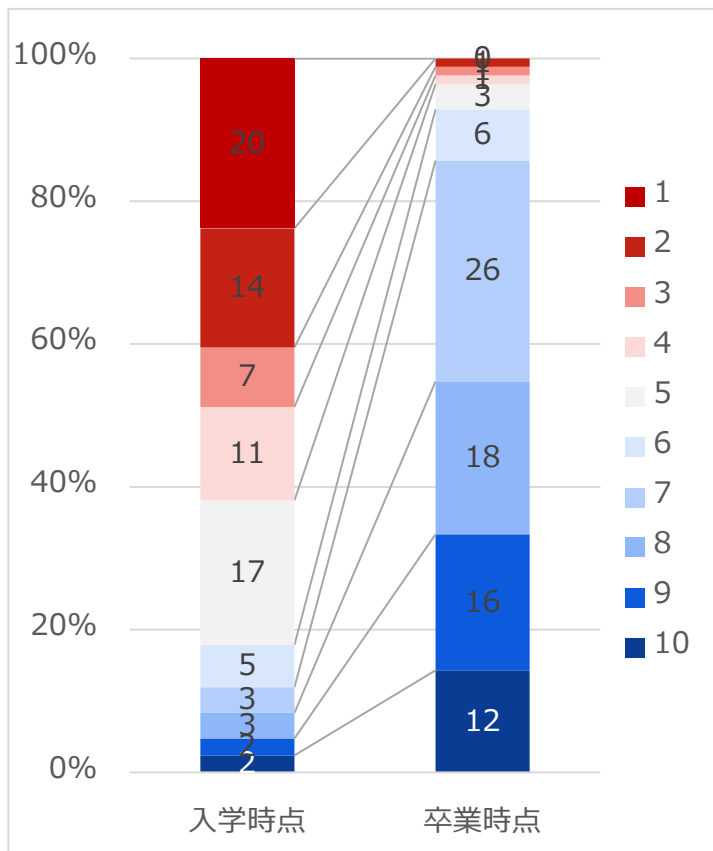
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(5名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

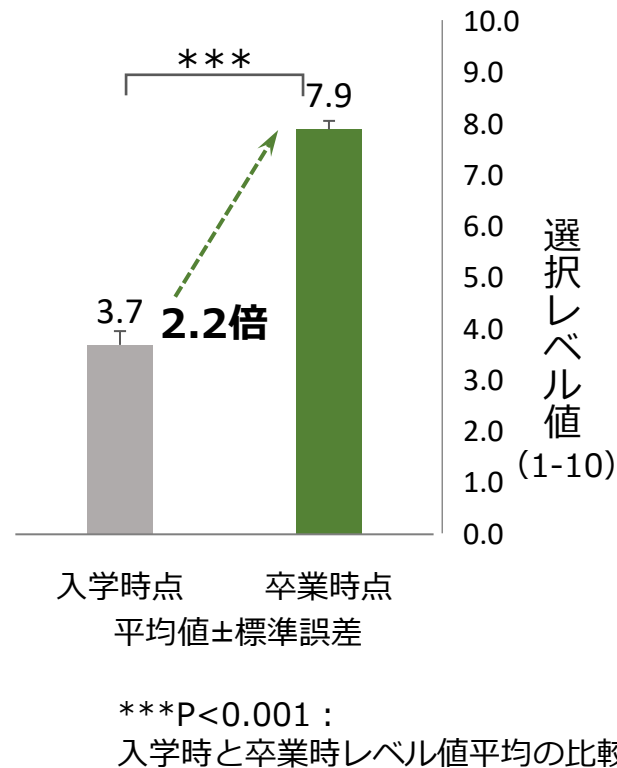
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

## (17) 看護専門職としての自身の課題を明らかにできている。(DP7)

各レベル選択者の割合の変化



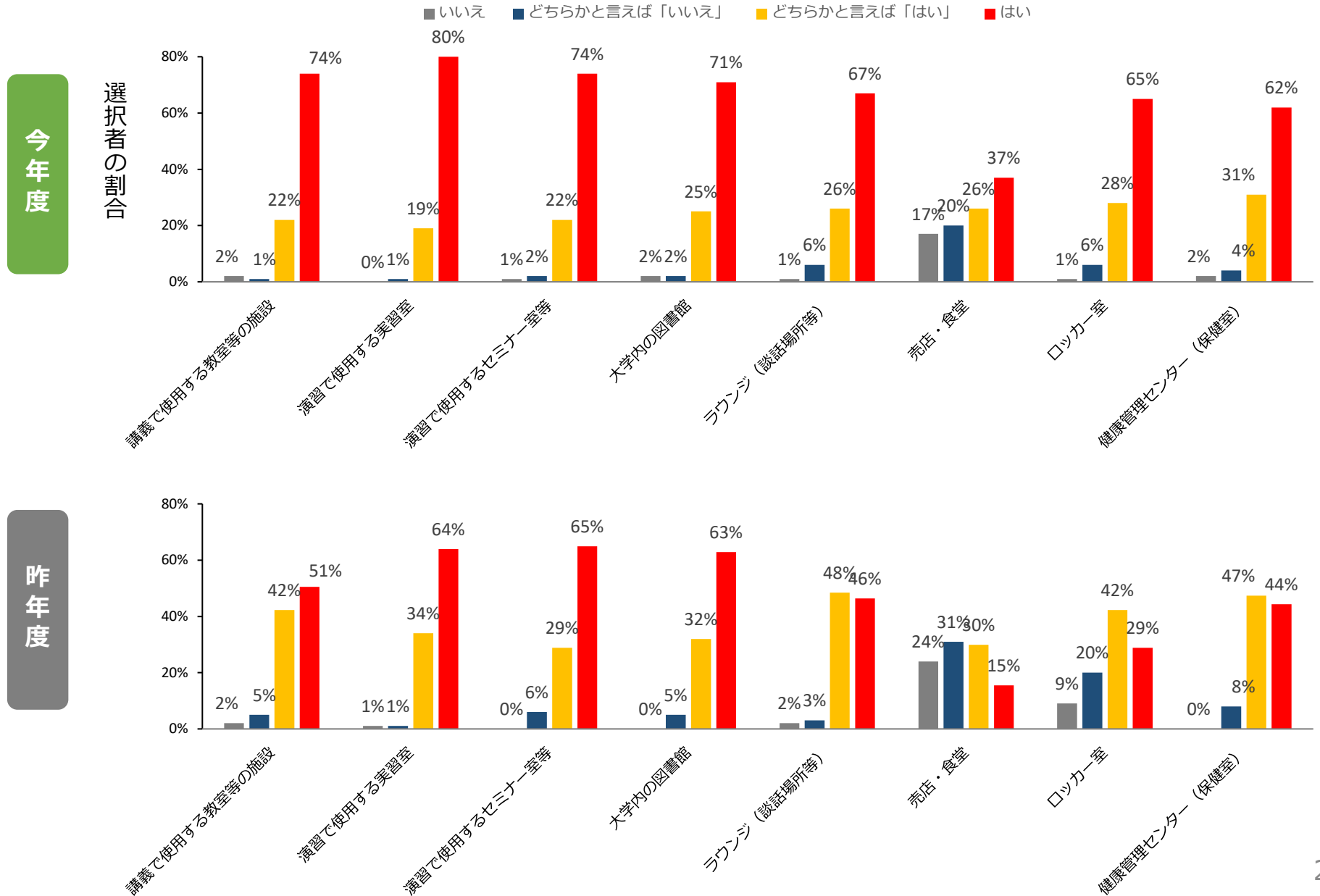
レベル平均値の変化





# 3.アンケート結果

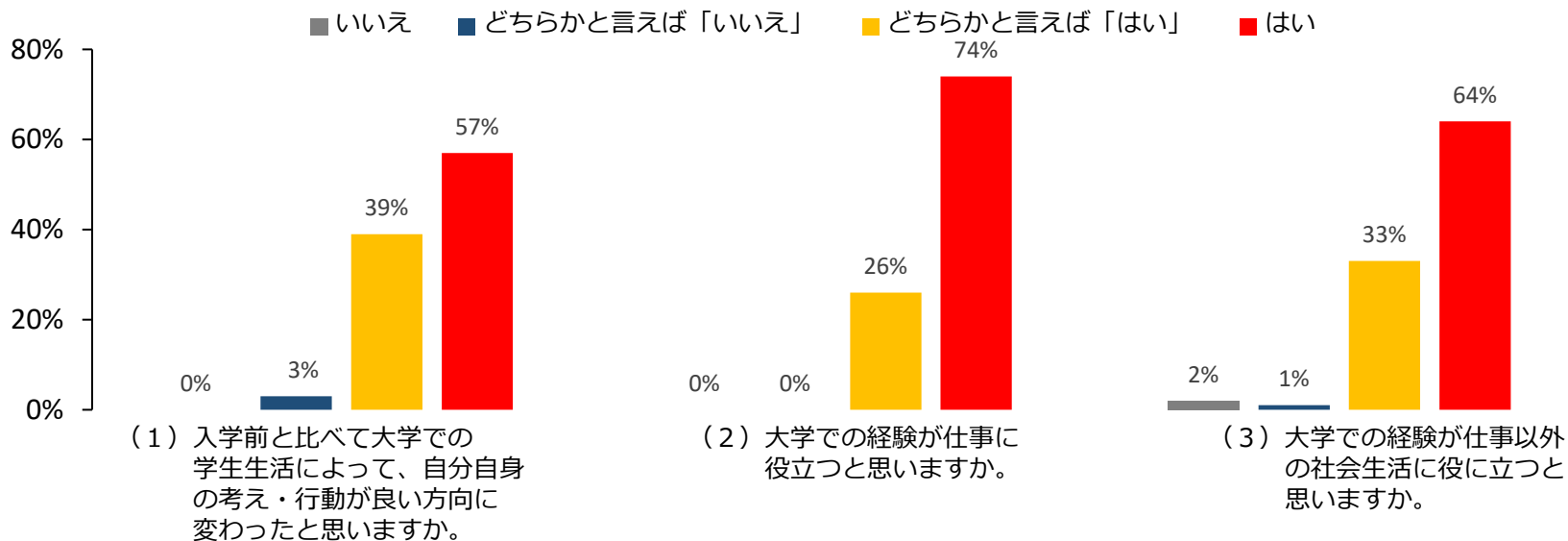
## 問7.福岡看護大学（福岡学園内施設含む）の施設・設備に満足できましたか。



# 3.アンケート結果

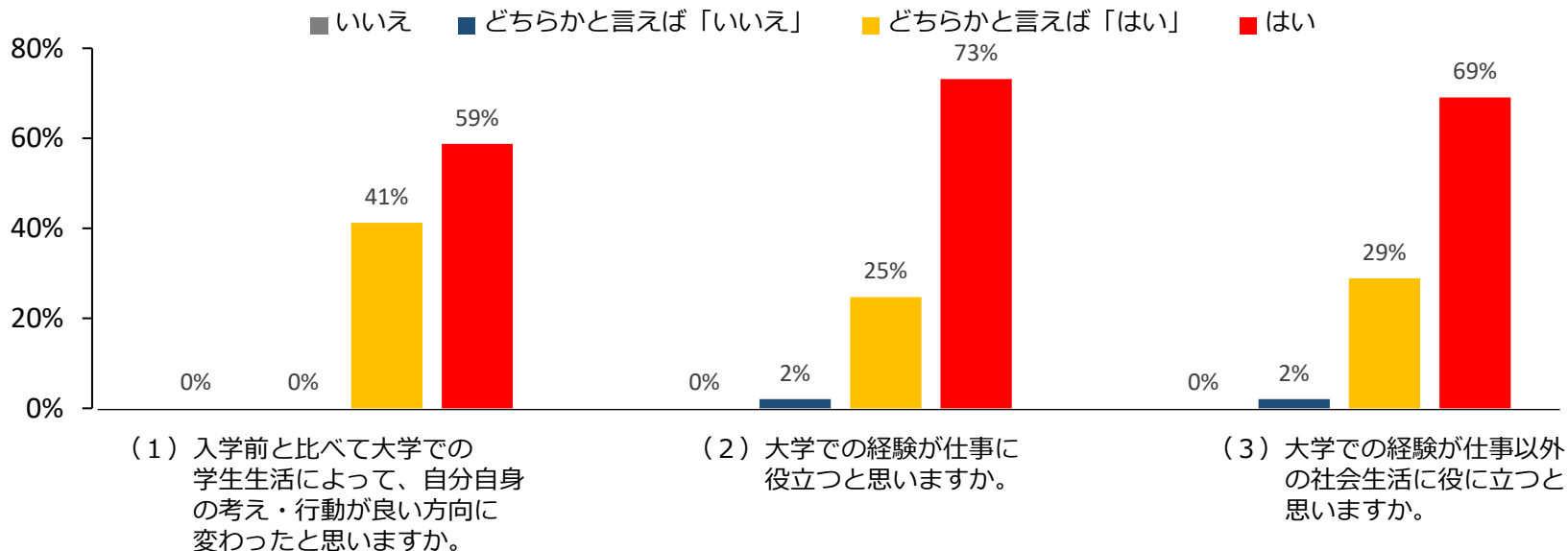
## 問8. 福岡看護大学での学生生活の経験について

今年度



昨年度

選択者の割合



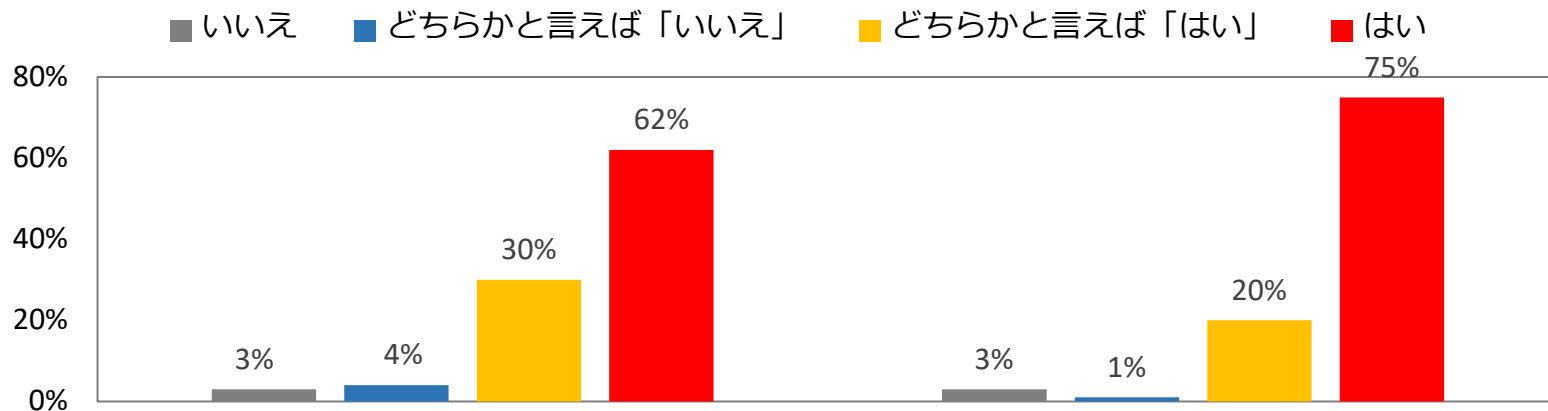
# 本学の学生支援について

# 3.アンケート結果

## 問9. 本学のチューター制度について

今年度

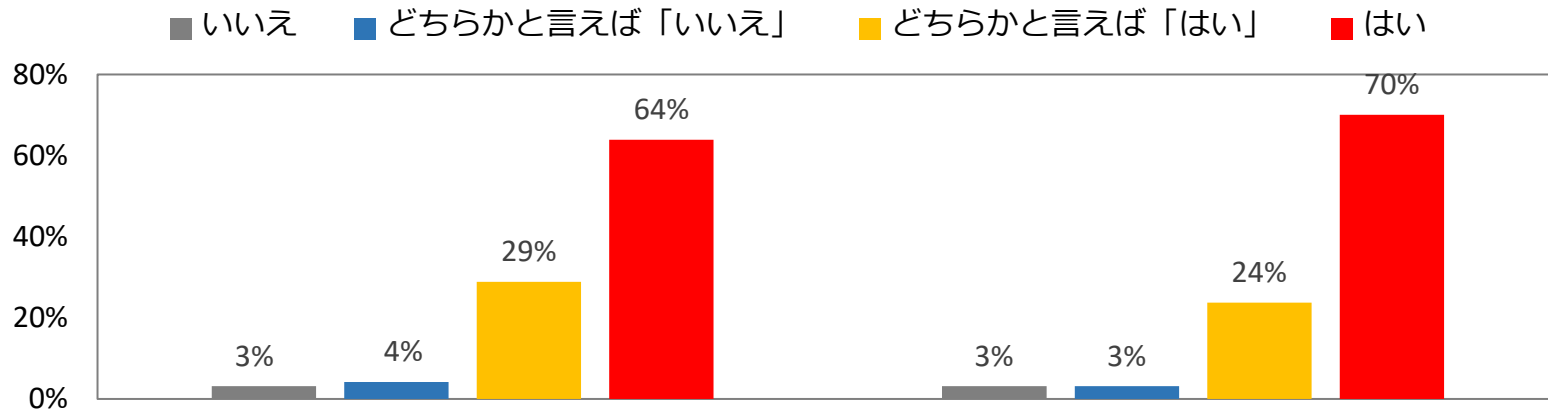
選択者の割合



(1) チューター教員には相談しやすかったですか。

(2) チューター教員はあなたの学修支援になっていましたか。

昨年度



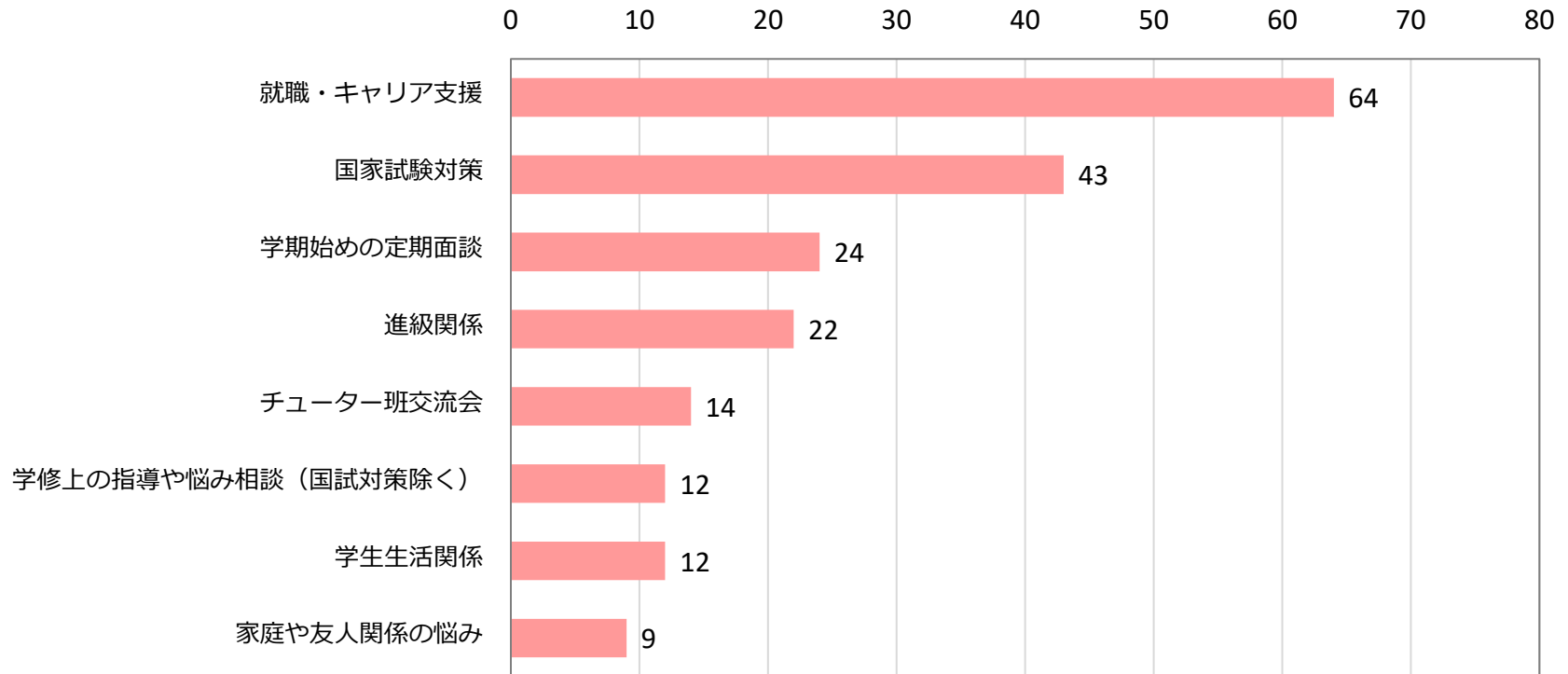
(1) チューター教員には相談しやすかったですか。

(2) チューター教員はあなたの学修支援になっていましたか。

# 3.アンケート結果

## 問9. 本学のチューター制度について

(3) チューター教員からの指導・アドバイスで良い支援と感じたことは  
なんですか。(複数回答いくつでも可)

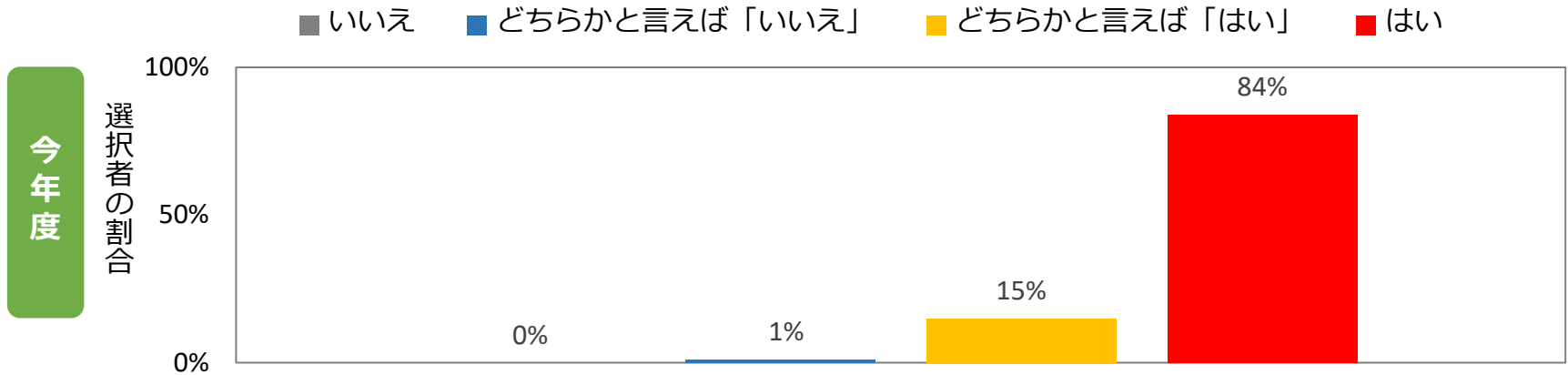


(その他)

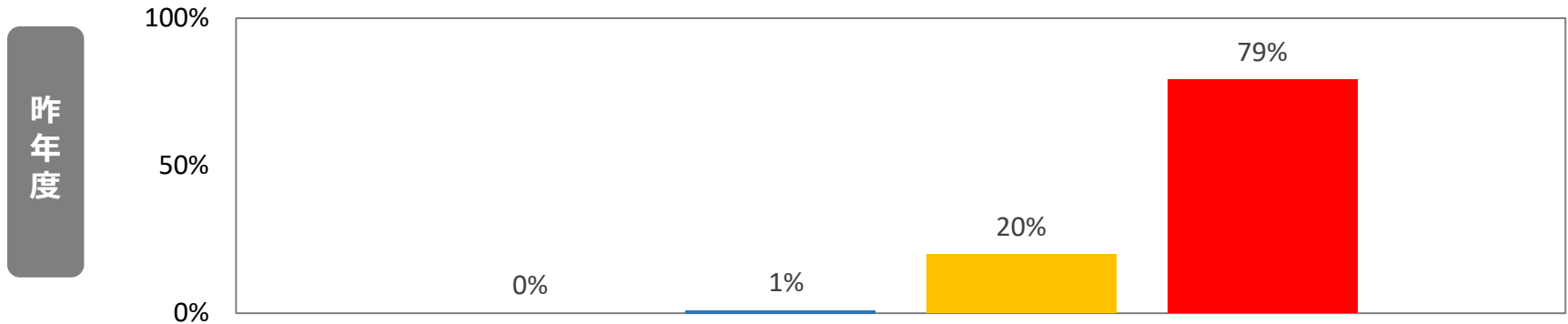
- ・卒業論文
- ・欲しいプリントを印刷してくれた

# 3.アンケート結果

## 問10. 本学の就職・キャリア支援について



(1) 本学の就職・キャリア支援体制はあなたの就職や進学支援になっていましたか。

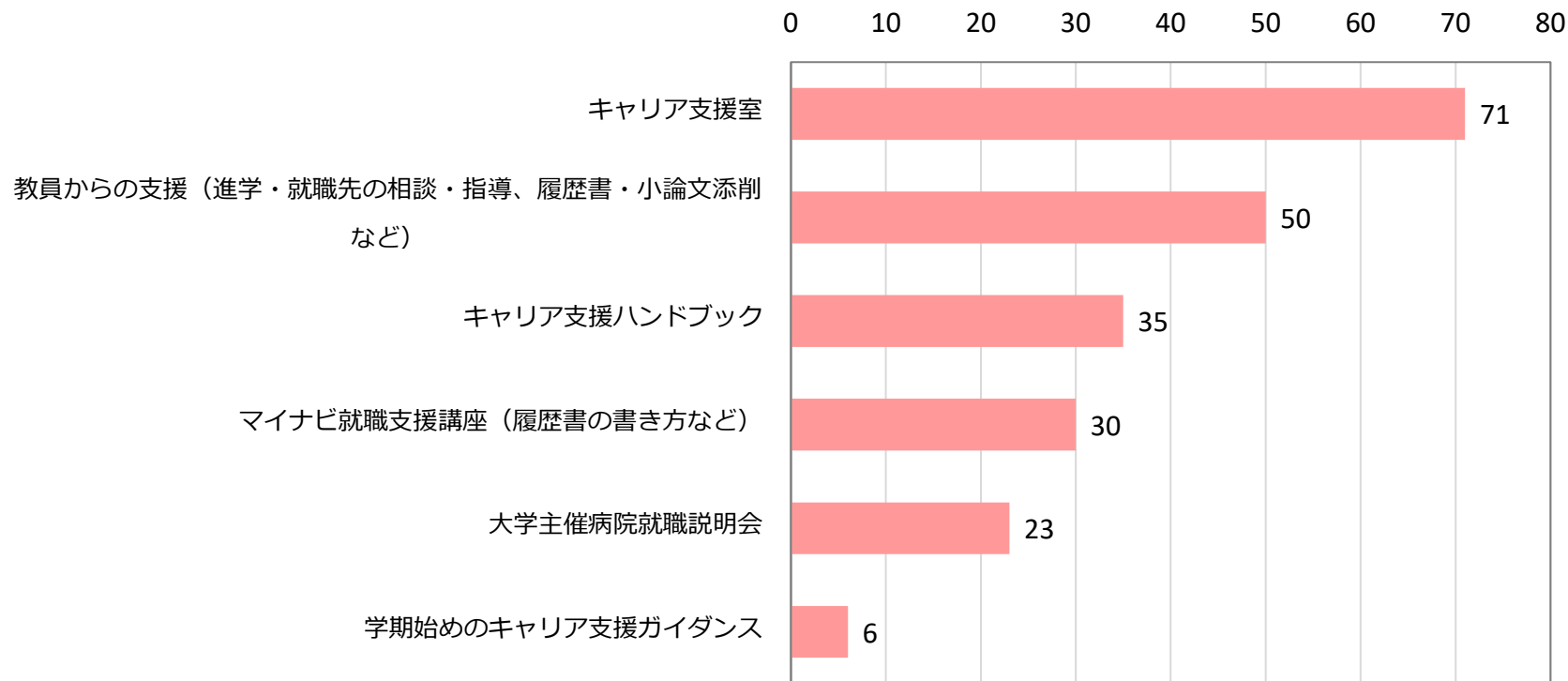


(1) 本学の就職・キャリア支援体制はあなたの就職や進学支援になっていましたか。

# 3.アンケート結果

## 問10. 本学の就職・キャリア支援について

(2) 本学の就職・キャリア支援体制で良い支援と感じたことはなんですか。  
(複数回答いくつでも可)



(その他)

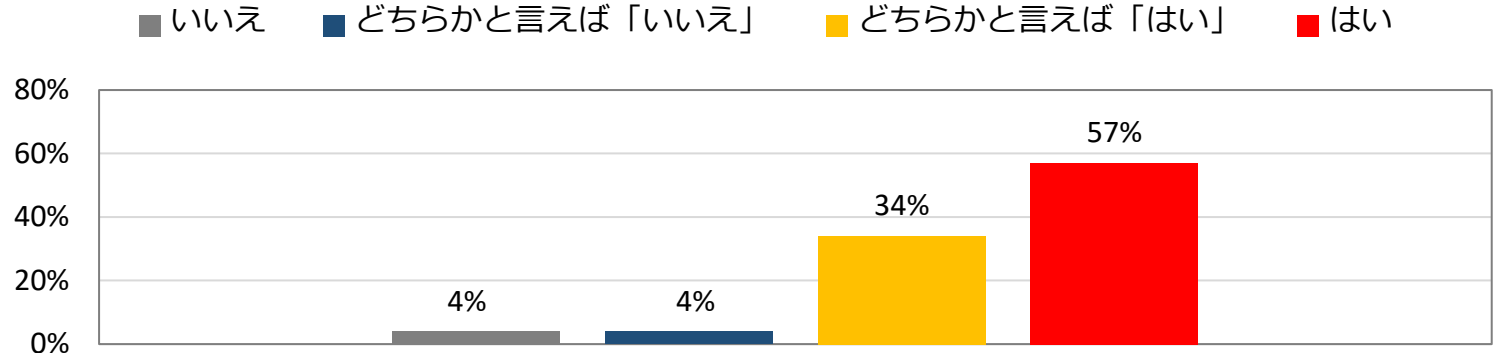
徳安さんが親身になってアドバイスや声掛けをしてくださったのがほんとうに励みになりました！

# 3.アンケート結果

## 問11. 本学の国家試験対策について

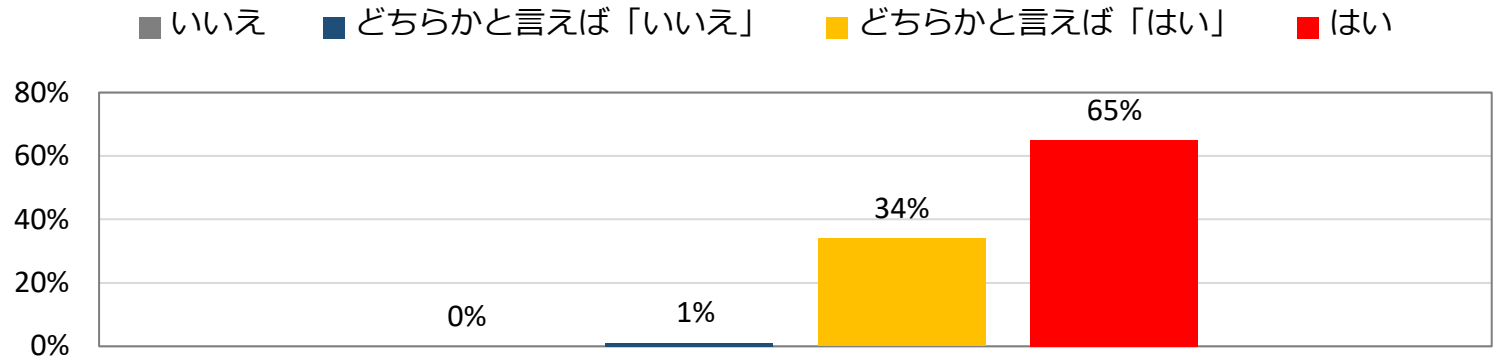
今年度

選択者の割合



(1) 本学の国家試験対策はあなたの国家試験受験の支援になっていましたか。

昨年度



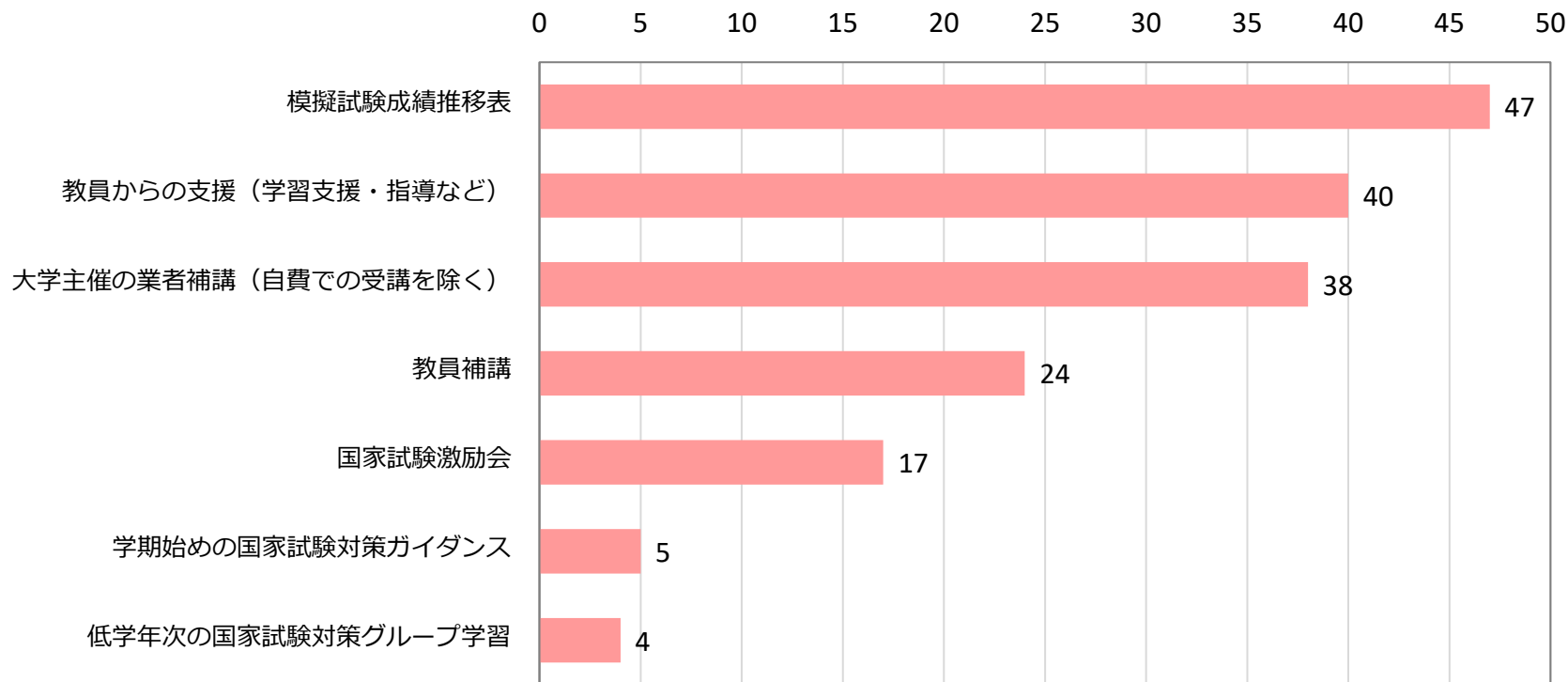
(1) 本学の国家試験対策はあなたの国家試験受験の支援になっていましたか。



# 3.アンケート結果

## 問11.本学の国家試験対策について

(2) 本学の国家試験対策で良い支援と感じたことはなんですか。  
(複数回答いくつでも可)



(その他)

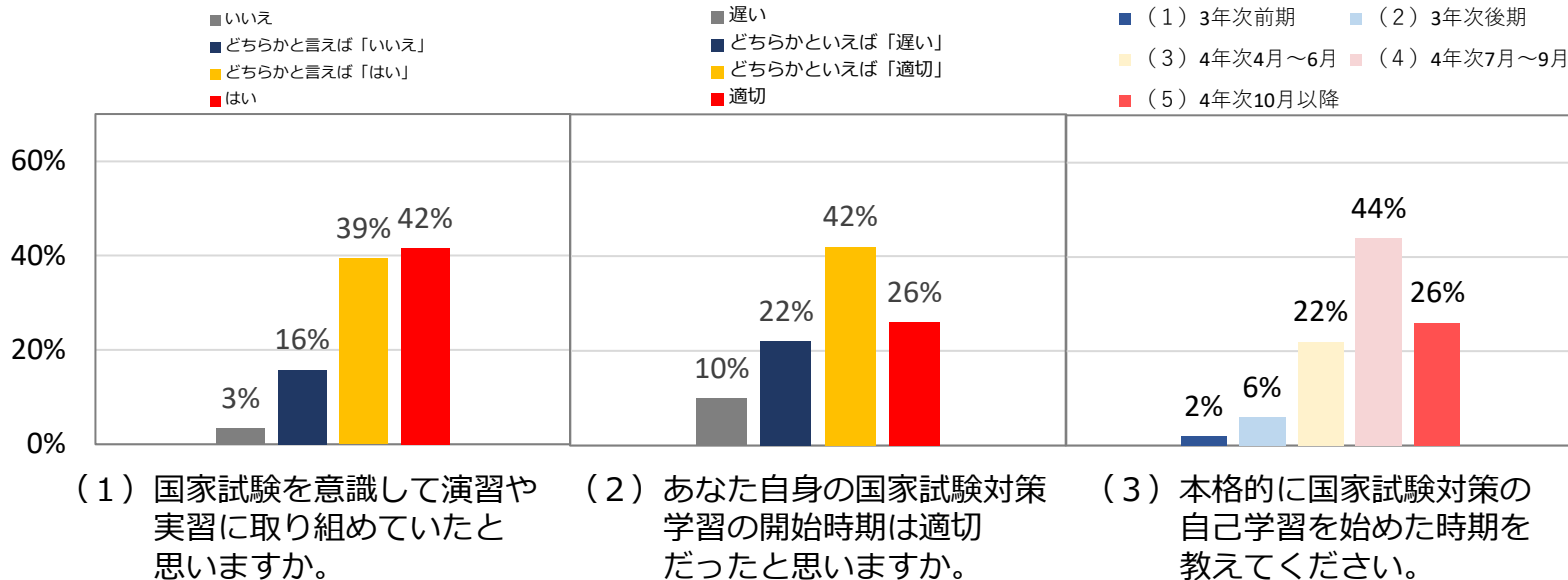
- ・日々の授業で国試を解いて解説を聞いたこと
- ・セミナー室を利用できたこと

# 3.アンケート結果

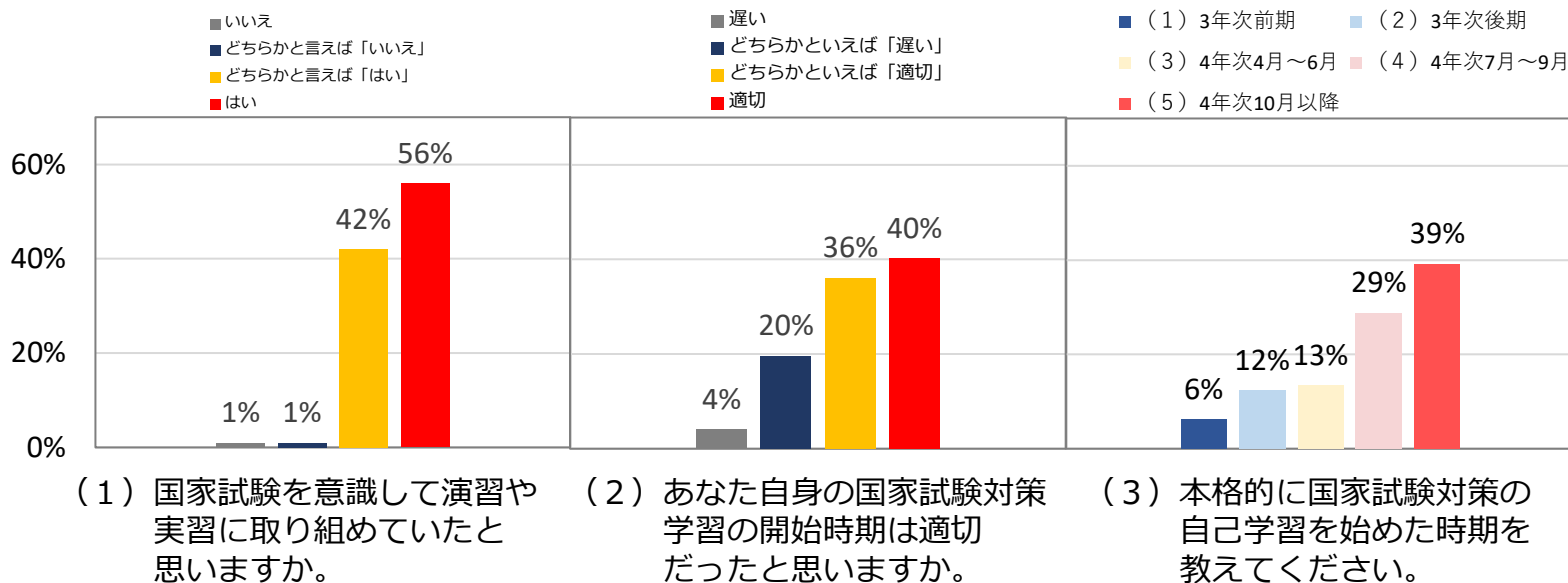
## 問12. あなた自身の国家試験対策について

今年度

選択者の割合



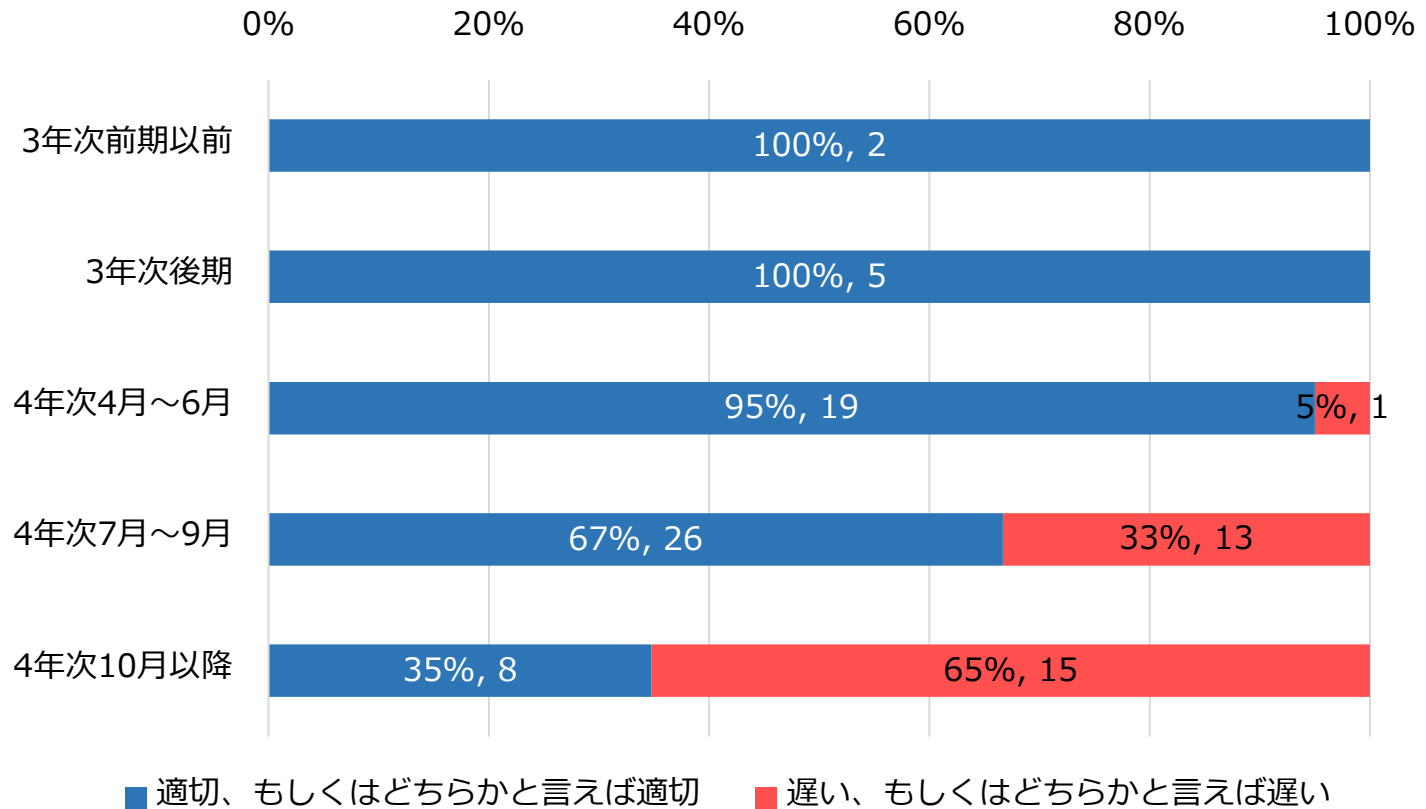
昨年度



# 3.アンケート結果

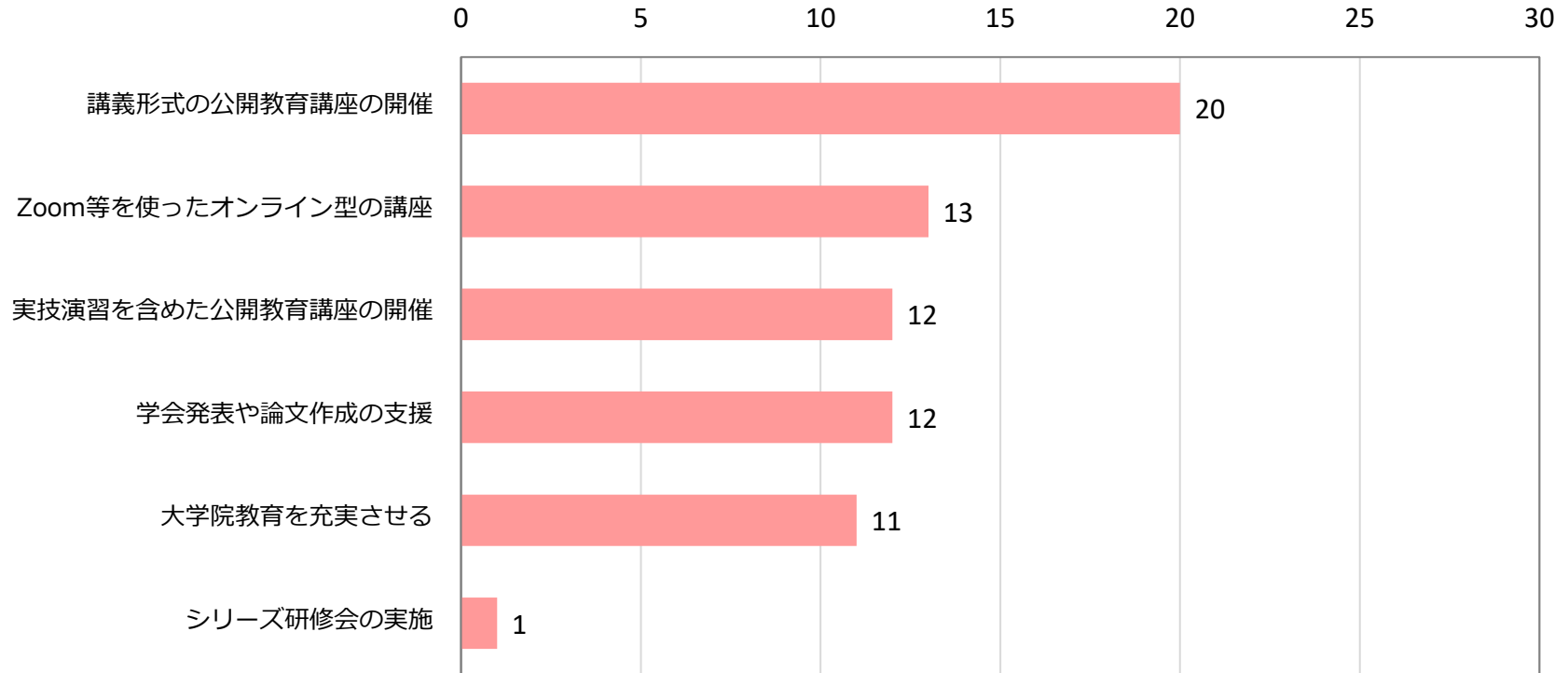
## 問12. あなた自身の国家試験対策について

補足分析：国家試験対策勉強の開始時期と時期の適切性について



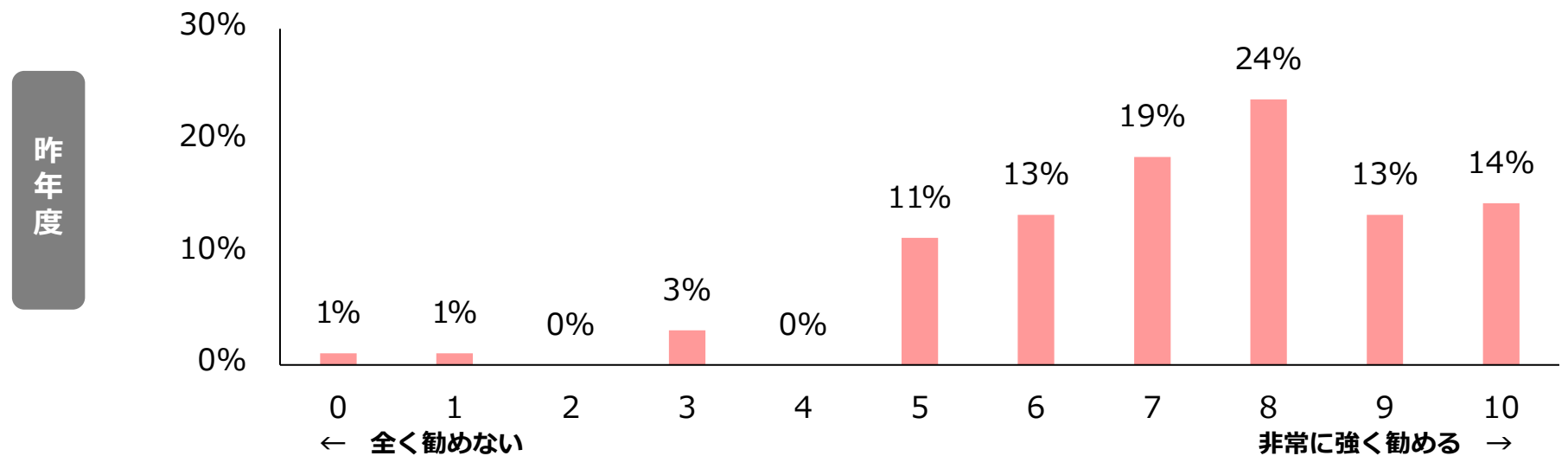
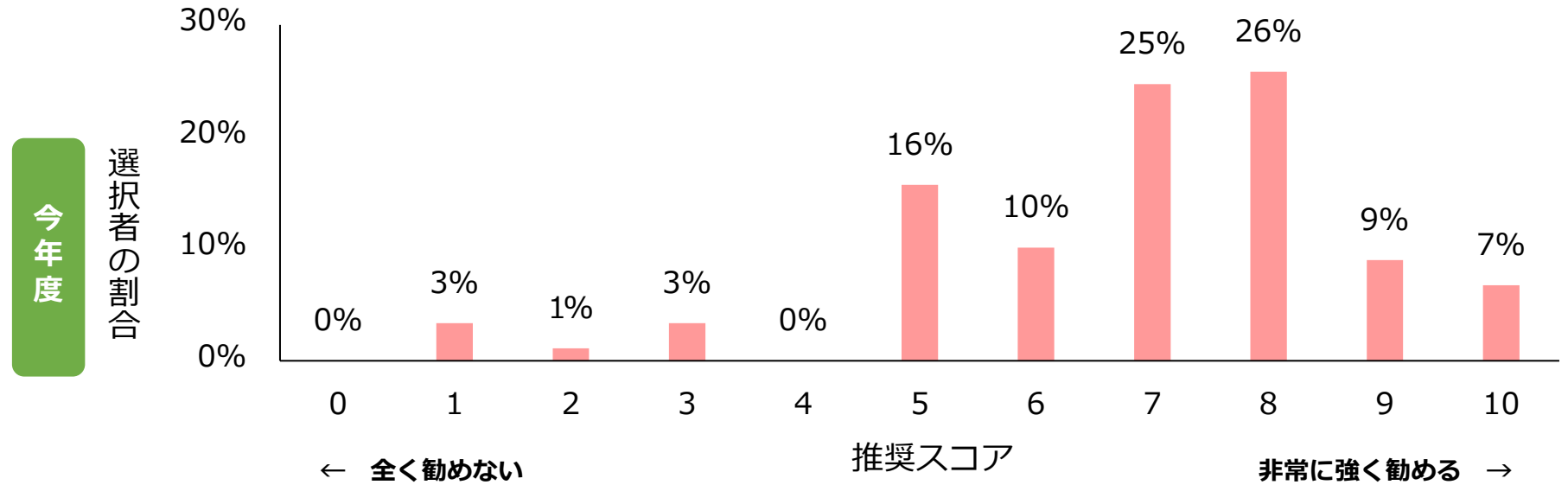
### 3.アンケート結果

問13. 社会人になってからの生涯学習に関して、福岡看護大学にどのようなことを期待しますか。(複数回答いくつでも可)



# 3.アンケート結果

問14. あなたは福岡看護大学を高校の後輩にどの程度お勧めしたいと思いますか。

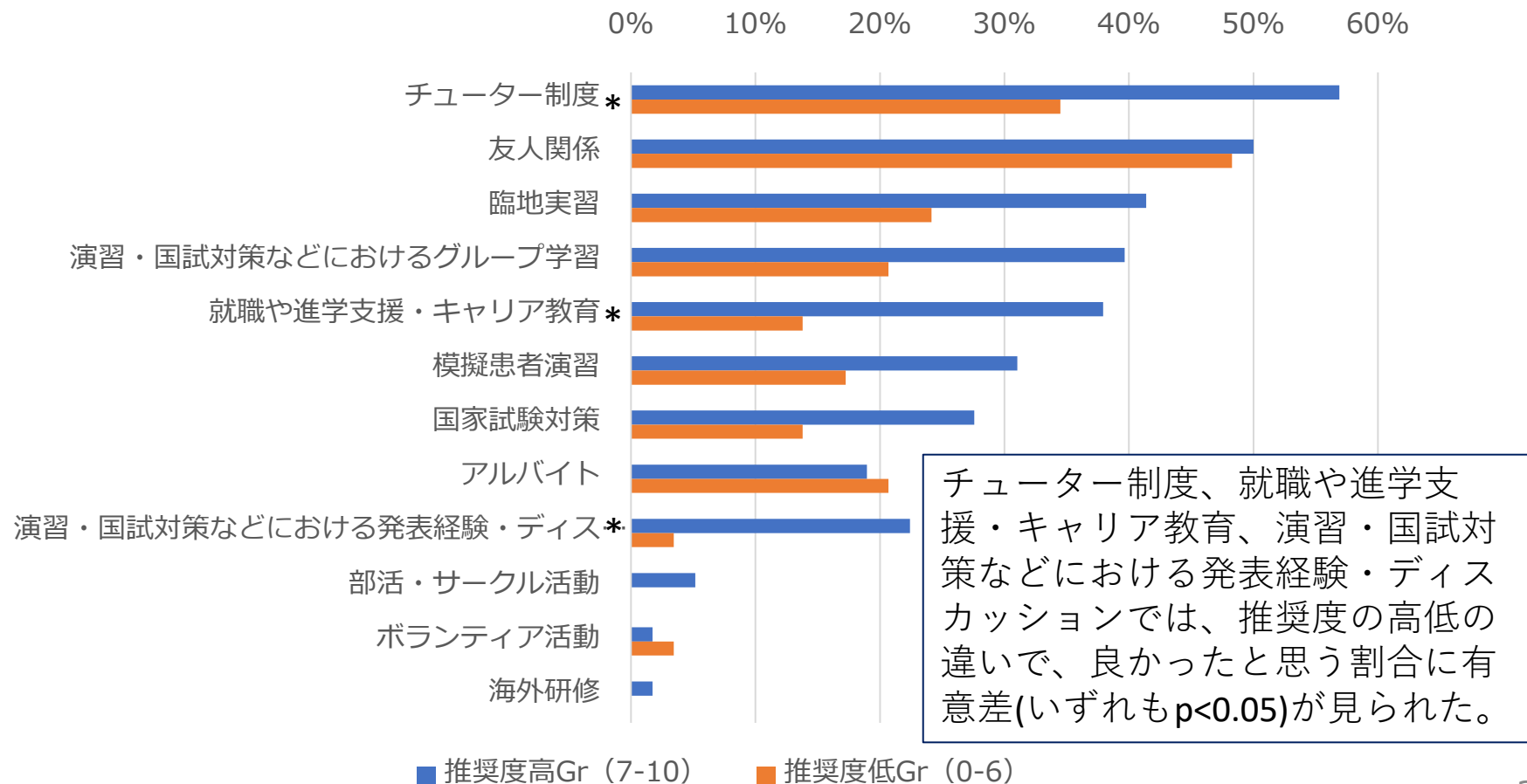


# 3.アンケート結果

## 補足分析：問14.推奨度と問5との関連性比較

問14の推奨度7以上の学生（59名）を推奨度高Gr、  
6以下の学生（30名）を推奨度低Gr としてグループ分けをして  
問5と問9（3）の回答内容の差を比較する。

### 問5. あなたの勉学や学生生活にとって、良かったと思うものは何ですか。



# 3.アンケート結果

補足分析：問14.推奨度と問9. (3) との関連性比較

## 問9. 本学のチューター制度について

(3) チューター教員からの指導・アドバイスで良い支援と感じたことは  
なんですか。

